

国道4号 しろいし白石市さいかわ斎川～おおだいら大平もりあい森合

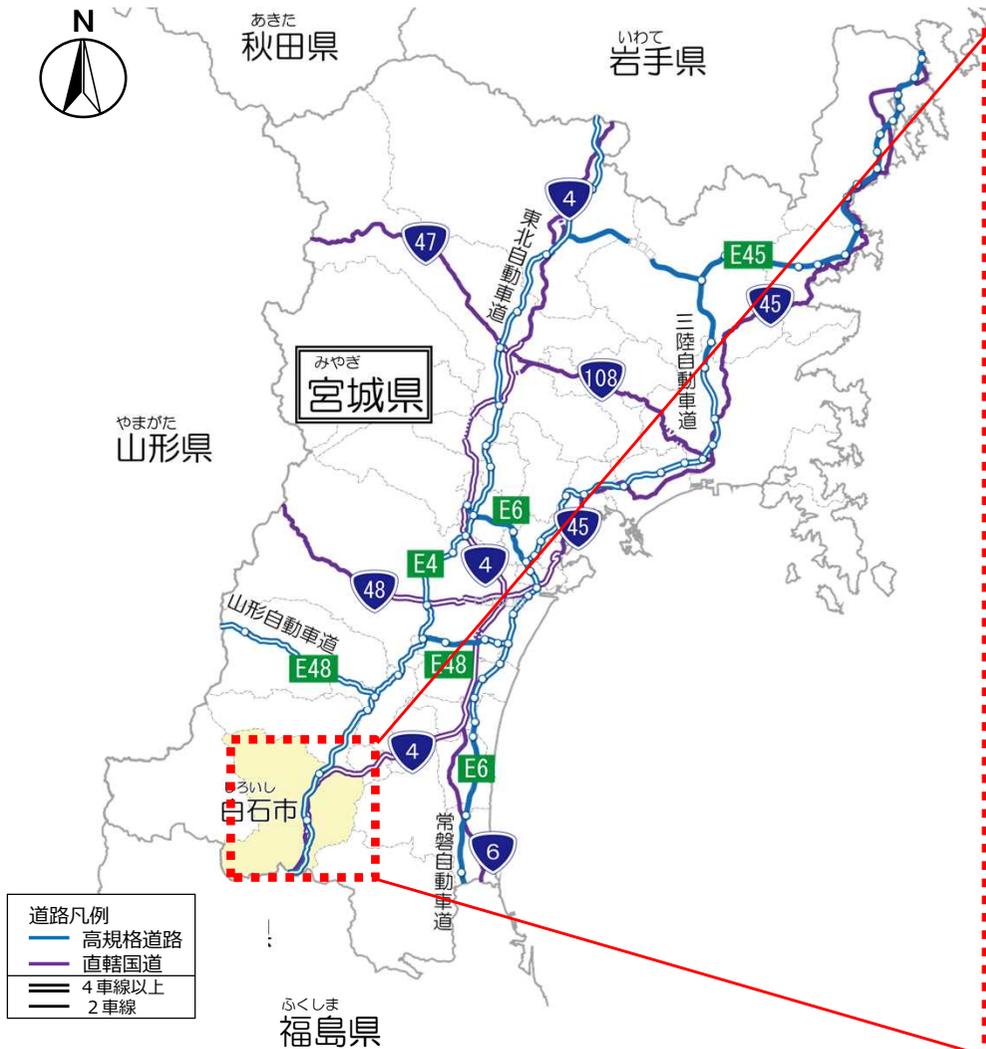
第2回 計画段階評価

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・ 1
2. 第1回地域の意見聴取結果の確認	・ ・ ・ 4
3. 政策目標の設定	・ ・ ・ 28
4. 対応方針（ルート帯案）の検討	・ ・ ・ 29
5. 第2回地域の意見聴取の方法	・ ・ ・ 35

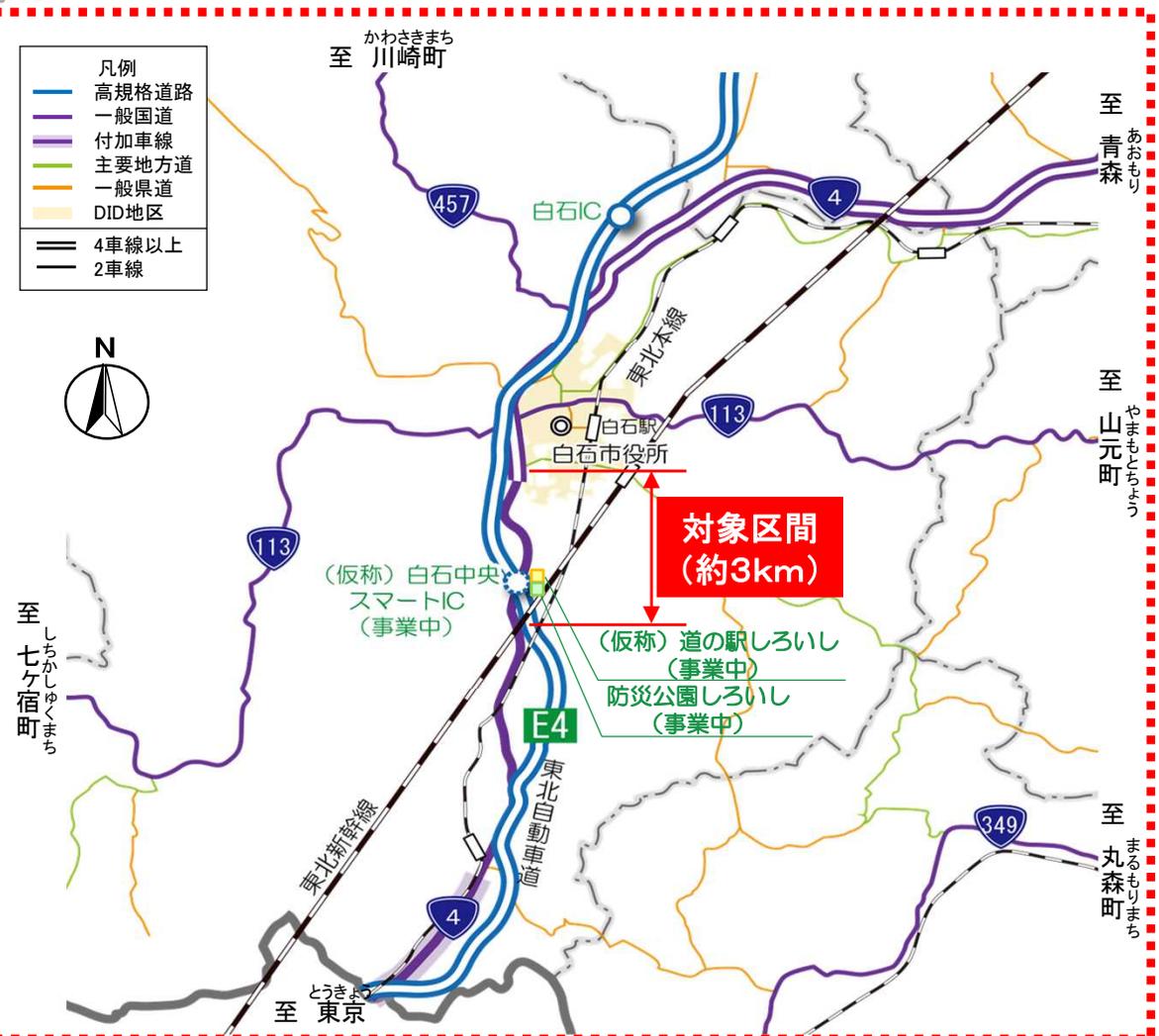
1-1. 評価対象区間

- ◆ 国道4号は、東京都中央区を起点に宮城県白石市等を経由し、青森県青森市に至る延長約839kmの直轄国道。
- ◆ 評価対象区間（以下、「対象区間」という。）は、白石市内の宮城県・福島県境付近に位置し、東北道と並行する2車線区間である。
- ◆ 対象区間は令和3年4月に策定された防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラムにおいて、災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策調査区間に位置づけられている。

【図1】広域図



【図2】評価対象区間位置図



1-2. 前回(第1回)審議内容

■第39回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日: 令和5年2月1日(水)開催

- 議事:
- ①評価対象区間
 - ⑤政策目標(案)の設定
 - ②計画段階評価の進め方(案)
 - ⑥地域の将来像
 - ③地域の概況
 - ⑦意見聴取方法(案)
 - ④道路交通・地域の状況と課題

【表1】 前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況	対応頁
・事業者へのアンケート調査は実際の利用者を対象とすることが重要。	・社名読取調査を行い、実際の利用者を対象に実施。	P4
・新たな地域開発を踏まえ、生活利用に配慮した計画を検討すること。	・白石市内への通勤が多い地域として、白石市に加え、蔵王町や大河原町でも住民アンケートを全戸配布。	P4
・アンケート調査は通行止めの影響を把握するため、東北道利用者への調査を検討すること。	・東北道のSA・PA(国見SA、菅生PA)に留置アンケートを設置。	P8
・アンケート票はわかりやすい表現や視覚障がい者に配慮した色使いとすること。	・アンケート票の専門用語等をわかりやすい表現に見直し。 ・図表はガイドライン等(※)を参照し、色覚障がい者に配慮した色使い、表現方法に見直し。	P6、P7
・通勤と通学は区別してデータ分析し、アンケートも区別して分析できるよう工夫すること。	・「通勤」と「通学」を区別。	P6
・高齢化が進む地域であるため、アンケートの主な利用目的に通院を追加してほしい。	・アンケートの主な利用目的に「通院」を追加。	P6
・回答はがきは世帯別の回収率を確認できるよう工夫すること。	・回答はがきにナンバーを記載。	P6
・WEB回答はアンケートを知ったきっかけを分析できるよう工夫すること。	・WEBアンケートに「このアンケートを何で知りましたか？」の設問を追加。	P37

※色覚障がいのある人に配慮した色使いのガイドライン(大阪府)、ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き(福岡市)

1-3. 今後の計画段階評価の進め方(案)

◆ 地域住民・事業者・道路利用者の意見を聞きながら、ルート帯案について検討を行う。

計画段階評価

今回

**第1回
東北地方小委員会
(R5. 2. 1)**

- 計画段階評価手続きの進め方(案)
- 地域の状況と課題
- 政策目標(案)
- 意見聴取方法(案)

**第1回
意見聴取
(R5. 4. 27~R5. 7. 31)**

- 意見聴取内容
 - ・ 地域、道路の課題
 - ・ 求められる道路機能
- 意見聴取方法〈アンケート〉
対象者：地域住民
道路利用者
企業 等
- 〈ヒアリング〉
対象者：関係自治体
団体
企業 等

**第2回
東北地方小委員会**

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の決定
- 評価項目の設定
- 対応方針(複数案)の設定
- 意見聴取方法(案)

**第2回
意見聴取**

- 意見聴取内容
 - ・ 対応方針(複数案)の検討に際し重視する項目
- 意見聴取方法〈アンケート〉
対象者：地域住民
道路利用者
企業 等
- 〈ヒアリング〉
対象者：関係自治体
団体
企業 等

**第3回
東北地方小委員会**

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対応方針案(概略ルート、構造等)

対応方針(概略ルート、構造)の決定

地方小委員会

2-1. 第1回地域の意見聴取の実施内容

- ◆ 第1回地域の意見聴取は、地域住民・道路利用者・事業者へのアンケート調査、及び関係団体へのヒアリング調査を実施。

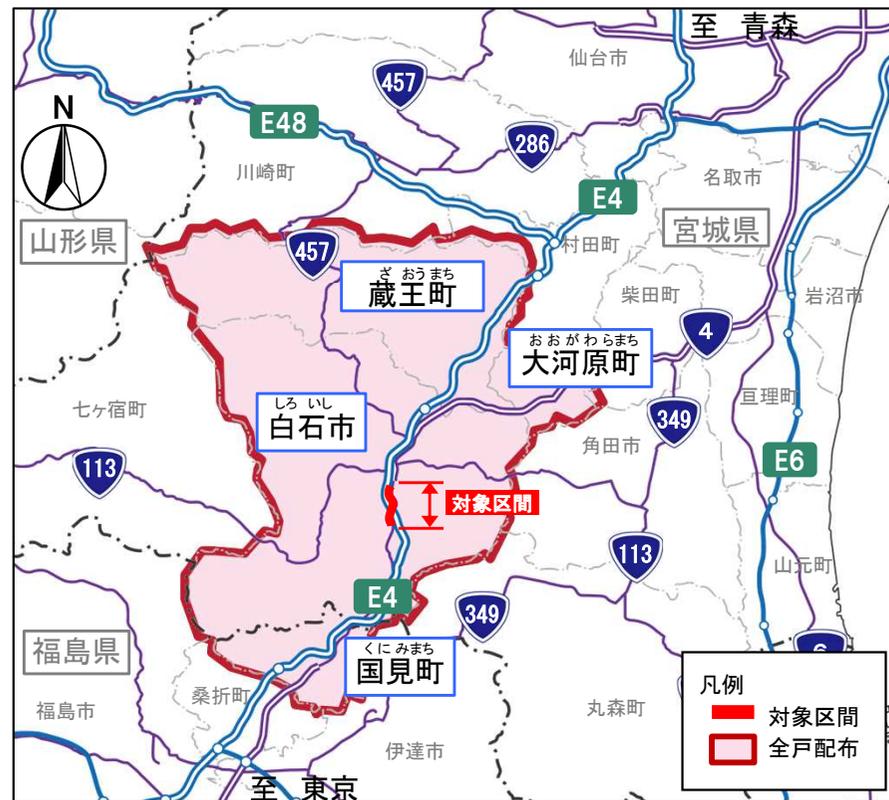
1. 意見聴取期間

令和5年4月27日～令和5年7月31日

2. 意見聴取の対象

【表1】アンケート調査による意見聴取の対象

項目	調査対象者	調査手法・規模
地域住民	<ul style="list-style-type: none"> 白石市 大河原町 蔵王町 国見町（福島県） 	<ul style="list-style-type: none"> 全戸配布 : 28,391 世帯 白石市 : 11,205 世帯 大河原町 : 10,111 世帯 蔵王町 : 4,180 世帯 国見町 : 2,895 世帯
道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> 道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケート（事務所ホームページ） 留置アンケート（22箇所※1）
事業者等	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県内（白石市、大河原町、蔵王町、仙台市、名取市等）及び福島県の対象区間利用企業及び周辺立地企業 	<ul style="list-style-type: none"> 郵送配布、郵送回収（222社※2） <p>※2 社名読取調査等により抽出した企業</p>



※1 留置アンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。

国土交通省	: 仙台河川国道事務所、岩沼国道維持出張所
宮城県	: 宮城県庁、大河原合同庁舎
福島県	: 福島県庁、県北建設事務所
市役所、町役場	: 白石市役所、大河原町役場、蔵王町役場、国見町役場
公民館等	: 白石市中央公民館、白石市文化体育活動センター、大河原町金ヶ瀬公民館、大河原町駅前図書館、大河原町中央公民館、蔵王町ふるさと文化会館、国見町観月台文化センター
道の駅等	: 道の駅「村田」、道の駅「国見 あつかしの郷」、おもしろいし市場、国見SA、菅生PA

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

項目	ヒアリング対象	
関係団体 (26団体)	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県（1団体） 自治体（1市3町） 農業関連団体（1団体） 製造業者（2社） 商工会議所（1団体） トラック協会（1団体） 観光協会（1団体） 	<ul style="list-style-type: none"> 消防機関（1団体） 医療機関（3団体） 警察機関（1団体） バス事業者（1団体） 教育機関（3団体） 物流業者（4社） 福祉関係（2団体）

2-2. 第1回地域の意見聴取の実施内容

- ◆ 地域住民へのアンケートは、白石市、大河原町、蔵王町、国見町（福島県）に全戸配布、WEBアンケート・留置アンケートを実施。全体の回収数は6,560票、広報誌差し込み配布における世帯単位での回収率は約14%となった。
- ◆ 事業者へのアンケートは、対象区間の利用企業及び周辺立地企業を対象に行い、全体の回収数は98票で、郵送配布における回収率は約41%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

分類	配布方法	配布数	回収数	回収率
地域住民・ 道路利用者	広報誌差し込み配布 (回答はがきを2枚添付)	28,391世帯	3,875世帯※1 (うち969票はWEB回答)	約14%
	配布回答 総数	—	5,935票※2	—
	留置	—	58票	—
	WEB	—	567票※3	—
	合計	—	6,560票	—
事業者等	郵送配布	222社	91社 (うち35社はWEB回答)	約41%
	WEB	—	7社※3	—
	合計	—	98社	—

- ※1. 配布はがき1枚目とWEB回答を合計した数
(同一世帯内で、はがき及びWEB上で重複して回答していないことを想定)
- ※2. ※1に2枚目を合計した数
- ※3. 郵送等配布対象以外

2-3. 第1回地域の意見聴取の実施内容(アンケート調査票・はがき)

- ◆ 調査票 (はがき) に、世帯ごとに異なるナンバリングを行い、回答した世帯数を把握できるように調査を実施。
- ◆ 主な利用目的の回答項目で「通勤」と「通学」を区別、「通院」を追加し、分析ができるように調査を実施。
- ◆ 性別は記入方式とし、任意に回答できるように配慮。
- ◆ 位置図の道路網の色などを色覚障がい者に配慮した色使いや表現に修正。

■ 地域意見聴取内容

- [回答者属性] 年齢、職業、性別 (任意)、住所、運転免許の有無
- [問1] 対象区間の利用状況 (頻度、目的、手段)
- [問2] 対象区間の課題について
- [問3] その他意見・要望

<はがき回答票 表面>

はがきで回答の方はこちら

国道4号 白石市齋川～大平森合 道路計画検討に関する第1回アンケート調査

はがき回答票 地域のみなさま用

質問 1 対象区間 (白石市) の道路利用についてお聞きします。最も当てはまる番号1つを選んでください。

質問 2 対象区間 (白石市) の課題についてお聞きします。

質問 3 その他、対象区間 (白石市) におけるご意見やご要望がございましたらご自由記入ください。

「通勤」と「通学」を区別、通院を追加

<はがき回答票 裏面>

アンケート回答例

アンケート返信方法

1 郵便ポストに投函

2 回収ボックスに投函

アンケートのご回答は 令和5年7月31日(月) までお願いいたします。

性別記入を任意に設定

こちらは裏面 (表面からの続き) です。

1世帯あたり2枚配布

調査票に世帯ごとのナンバリングを行い、回答した世帯数を把握できるように調査

ご協力ありがとうございました

アンケート回答票の裏面 (個人情報記入欄)

性別記入を任意に設定

ご協力ありがとうございました

<調査票 表面>

みなさまのご意見をお聞かせください!

国道4号 白石市齋川～大平森合 道路計画検討に関する第1回アンケート調査

全3問 (約4分程度)

色覚障がい者の方にも見やすいように、道路網の色を変更

白石市の国道4号は、都市の発展とともに道路の利用が変化し、対象区間の道路に負担が生じているため、混雑や事故などの課題を抱えています。

本アンケートは、対象区間の課題を解決する道路計画について、ご意見をお聞かせください。

今回のアンケートと道路計画の流れ

地域や道路交通の現状と課題の整理

アンケート

道路交通・地域の課題把握

政策目標の設定 対応方針案の検討

アンケート

ルート案に対する意見の把握

対応方針案の決定

お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査課

TEL 022-248-0048 Email thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp

アンケートのご回答は 令和5年7月31日(月) までお願いいたします。

2-3. 第1回地域の意見聴取の実施内容(アンケート調査)

- ◆ アンケート調査は、地域住民への広報誌差し込み配布、留置、WEBで実施。
- ◆ 調査の周知に向けて、自治体広報や新聞広告・SNS※・HP（国交省、宮城県、白石市、大河原町、蔵王町、福島県、国見町）へ掲載。

【写真1】回収はがき



【写真2】留置設置状況



【写真3】留置設置状況(高速PA)



【図3】新聞広告 ※SNS：LINE、Facebook、X(旧Twitter)

国道4号 ①白石市齋川～大平森合及び②大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田の道路計画に関する第1回アンケート調査を実施しております。

実施期間 令和5年7月31日(月)まで

お問い合わせ先 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査課 (TEL 022-248-0048 (平日 9:15～18:00))

Webで回答する 1 スマートフォンから 2 パソコンから

はがきで回答する 郵便ポストに投函

調査対象地域にお住まいの方には、郵送または広報誌差し込みにて調査票を配布します。返信用はがきに回答を記入いただき、郵便ポストに投函ください。

【図1】WEBアンケート (地域住民)

国道4号 白石市 齋川～大平森合

道路計画検討に関する第1回アンケート調査

国道4号白石市の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

お住まいの地区を以下から選択または記載ください

白石市 大河原町 蔵王町 国見町

白石市、大河原町、蔵王町、国見町以外の住民の方(以下に住所を記載願います)

住所

年齢

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

職業

会社員 公務員 自営業 学生 主婦(主夫) 無職 その他

その他の職業

運転免許

あり なし

このアンケートを何で知りましたか?

国、県、自治体のHP ツイッター等のSNS ポスター 新聞広告 ラジオ広告

広報誌 郵送または広報誌差し込み配布物 その他

その他(自由記載)

※個人情報と同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます。)

次へ

【図2】自治体広報誌での周知

国道4号(白石市齋川～大平森合)の道路計画に関するアンケート調査を実施中です

国道4号(白石市齋川～大平森合)の計画に向けて、アンケート調査を実施しています。皆様のご意見をお聞かせください。アンケートの詳細につきましては、下記QRコードまたは、本誌とあわせて配布した調査票からもご覧いただけます。

●期間：7月31日(月)まで

●回答方法：QRコードまたは、本誌とあわせて配布している調査票の返信用ハガキを郵便ポストへ投函してください。

■問合せ：仙台河川国道事務所調査課

☎022-248-0048

✉thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp

【図4】白石市Facebook

白石市役所 5月9日

【国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所からのお知らせ ～ご意見募集中心！～】

国道4号(白石市)の道路計画検討に関する第1回アンケートを実施中です。

日頃感じている交通や地域課題について、ご意見を募集しています。

アンケートの詳細および回答は、▼こちらから願います。

<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/shiroishi02.html>

▼問い合わせ先 国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 ☎022-248-0048

実施期間 令和5年 7/31(月)まで

ご意見募集中心!

国道4号 白石市齋川～大平森合

【図5】仙台河川国道事務所HP

国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所

かわとみち

みなさまのご意見をお聞かせください!

国道4号 白石市齋川～大平森合 道路計画検討に関する第1回アンケート調査

全3週間 (約4分程度)

アンケート詳細

アンケート実施地域

国道4号(白石市)の道路計画検討に関する第1回アンケート調査

現在進行中の道路計画の概要

アンケート実施の目的

アンケート実施の期間

アンケート実施の場所

アンケート実施の方法

アンケート実施の問い合わせ先

2-3. 第1回地域の意見聴取の実施内容(ヒアリング調査)

- ◆ 関係自治体と関係団体、事業者（合計26の関係自治体、関係団体、事業者）に対して、地域が抱える課題についてヒアリング調査（対面、電話）を実施。

【表1】地域意見聴取内容

- ・対象区間の利用状況について
- ・対象区間の課題について
- ・その他意見・要望

【表2】ヒアリング調査の対象（関係自治体）

分野	数	所在地	対象名
宮城県	1	大河原町	大河原地方振興事務所
自治体	4	白石市	白石市
		大河原町	大河原町
		蔵王町	蔵王町
		国見町	国見町

【参考】ヒアリング調査対象抽出の視点

ヒアリング調査対象	抽出の視点
関係自治体	対象区間の自治体、対象区間の利用割合が高い周辺自治体及び宮城県
農業関連団体 製造業者 商工会議所 観光協会	経済活動を統括する関係団体及び事業者
トラック協会 バス事業者 物流業者	地域内の物流・人流を担う関係団体及び事業者
消防機関 医療機関 警察機関	地域内の生活を支援する関係団体及び事業者
教育機関	日常的に歩道を利用する児童・生徒が所属する学校
福祉関係	送迎で対象区間を利用する福祉関係者

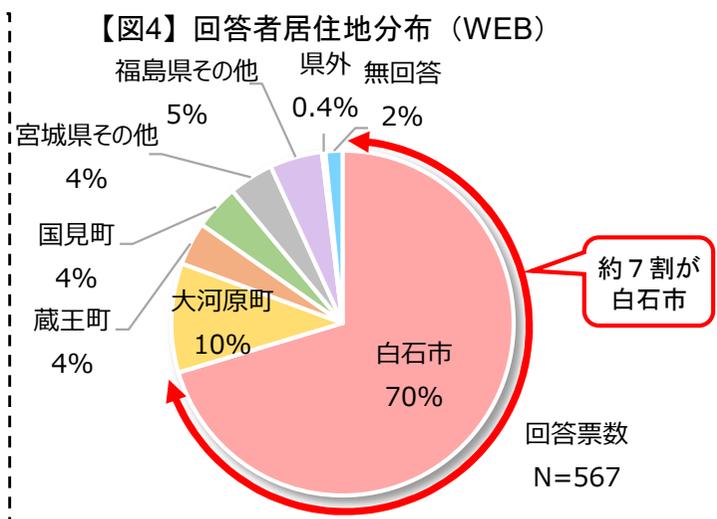
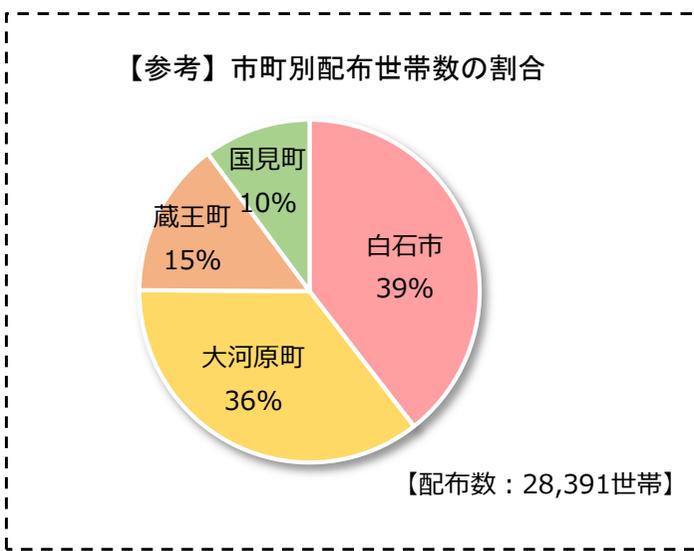
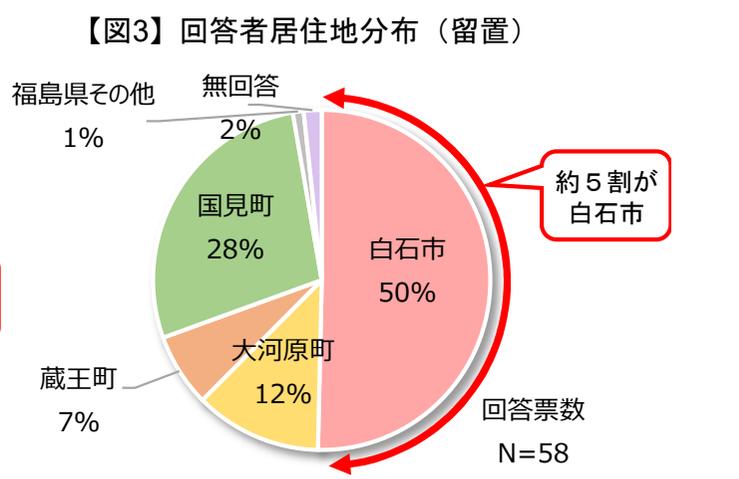
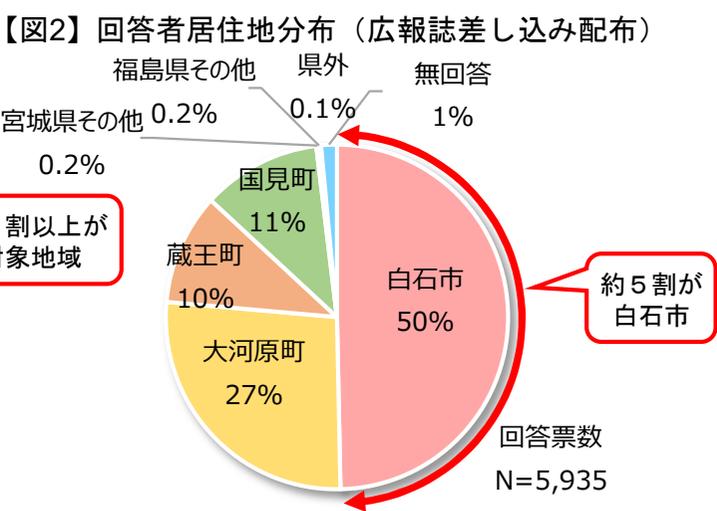
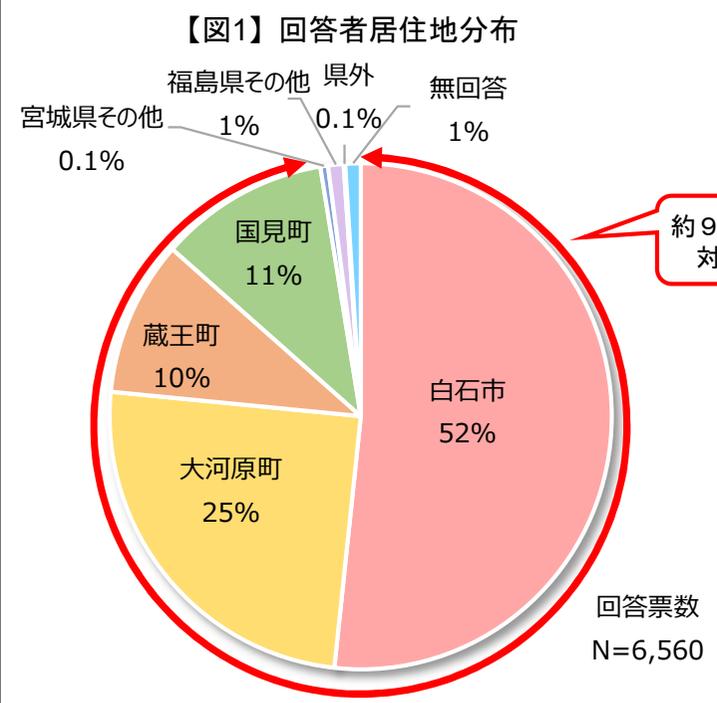
【表3】ヒアリング調査の対象（関係団体、事業者）

分野	数	所在地	機関・企業名
農業関連団体	1	柴田町	JAみやぎ仙南
製造業者	2	白石市	(株)トーキン
		角田市	アイリスオーヤマ(株)
商工会議所	1	白石市	白石商工会議所
トラック協会	1	名取市	宮城県トラック協会 仙南支部
観光協会	1	白石市	(一社)白石市観光協会
消防機関	1	白石市	仙南地域広域行政事務組合白石消防署
医療機関	3	大河原町	みやぎ県南中核病院
		白石市	公立刈田綜合病院
		白石市	医療法人浄仁会 大泉記念病院
警察機関	1	白石市	白石警察署
バス事業者	1	白石市	(株)ミヤコーバス
教育機関	3	白石市	白石中学校
		白石市	白石第二小学校
		白石市	大平小学校
物流業者	4	蔵王町	カメイ物流サービス(株)
		柴田町	(有)富樫運輸
		白石市	(株)白石運送
		白石市	伊達貨物運送(株)
福祉関係	2	白石市	社会福祉法人 白石陽光園
		白石市	社会福祉法人 伯和会 デイサービスセンター茶園

2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性①)

- ◆ アンケート結果は、約9割以上がアンケート調査対象地域からの回答であった。
- ◆ 回答割合は、いずれの回答方法でも白石市が最も高い結果となった。

あなたについてお聞かせください。(回答者の属性：地域区分)

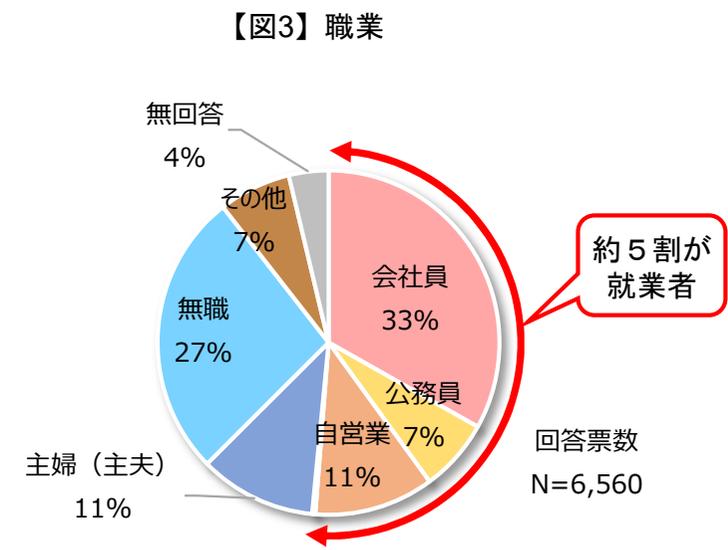
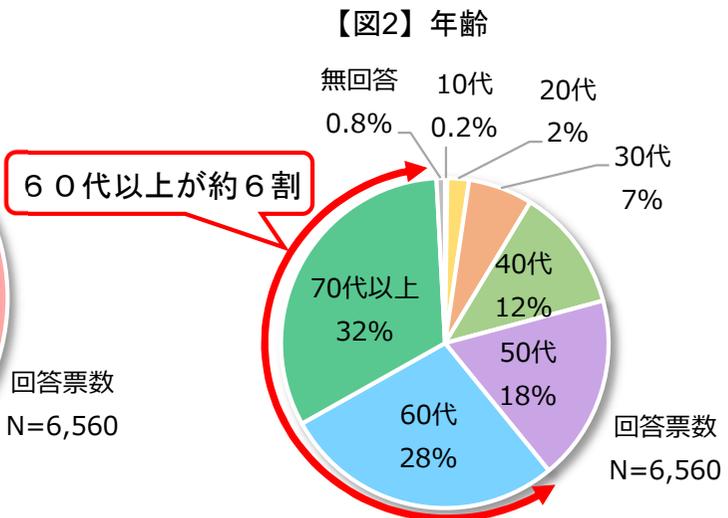
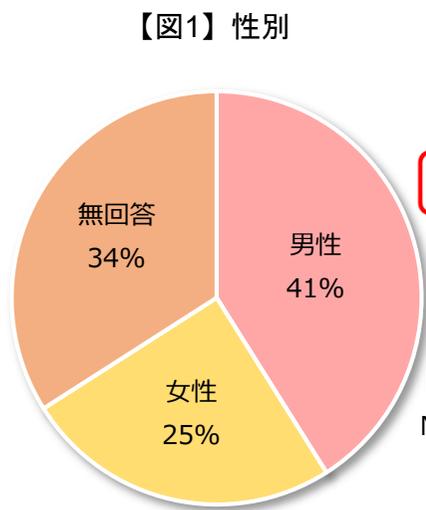


2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性②)

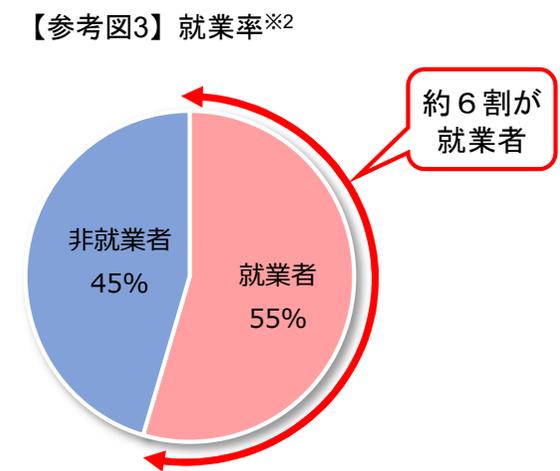
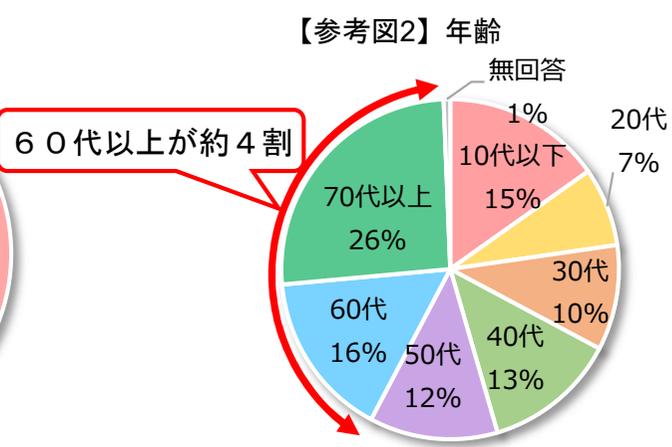
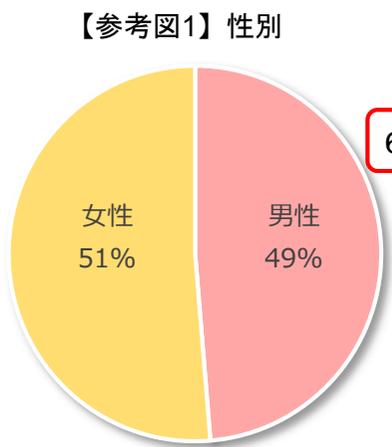
- ◆ アンケート結果について、年齢別回答率は60代以上が約6割を占めた。
- ◆ 就業率はアンケート調査対象地域の統計データと概ね整合した結果となった。

あなたについてお聞かせください。(回答者の属性：性別、年齢、職業)

アンケート結果



【参考】※1対象地域の統計データ



※1 アンケート調査対象地域：白石市、大河原町、蔵王町、国見町

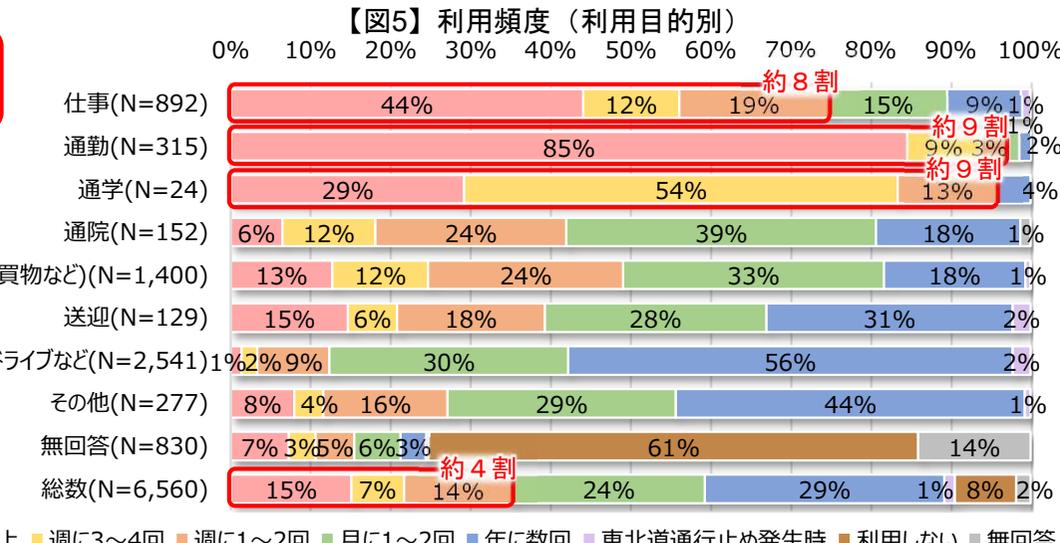
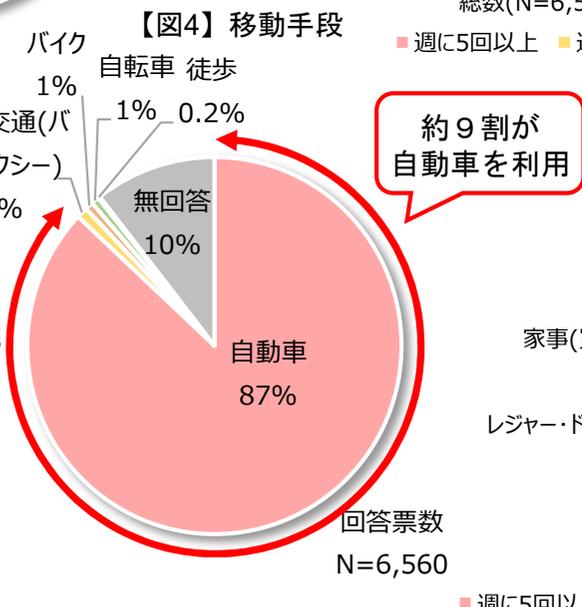
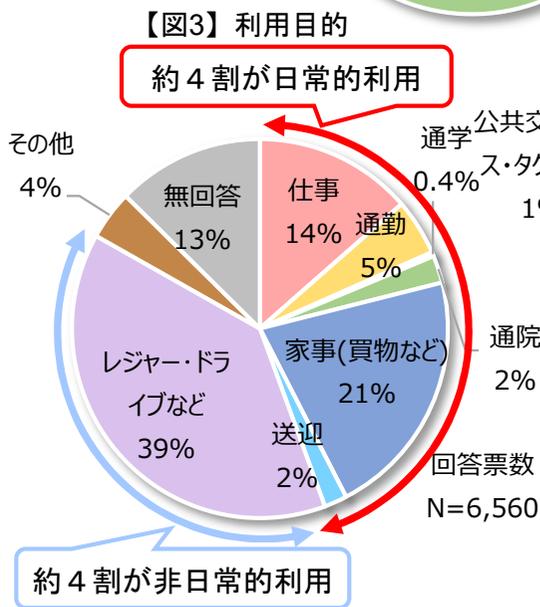
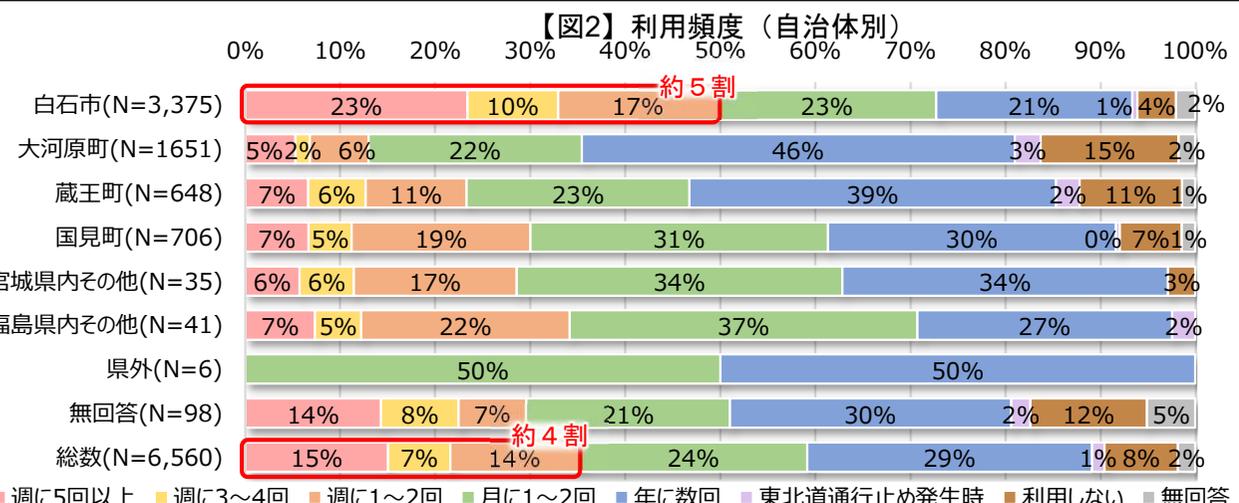
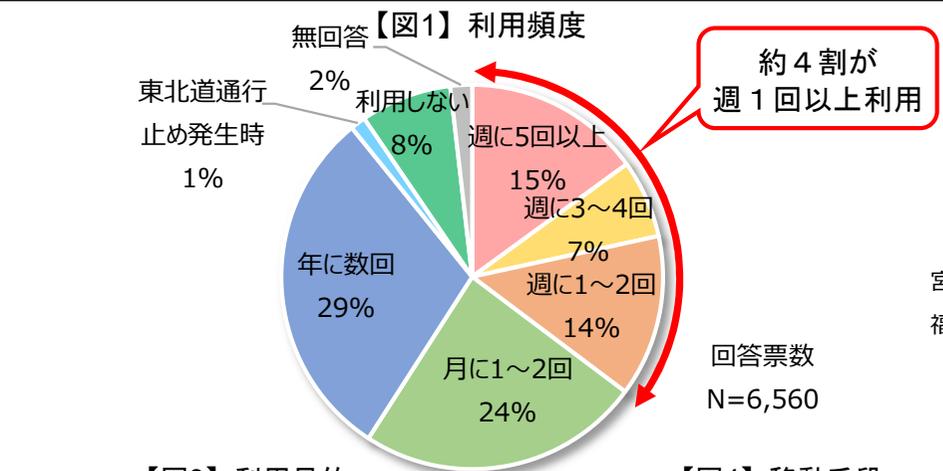
※2 就業率：15歳以上の人口に占める就業者の割合

出典：R2国勢調査

2-4. 住民等への意見聴取の結果(道路利用)

- ◆ 利用頻度は週 1 回以上の利用が約 4 割を占めており、自治体別では白石市が約 5 割を占めている。
- ◆ 利用目的では日常的利用、非日常的利用が約 4 割で同程度となっており、利用手段は「自動車」が約 9 割を占めた。
- ◆ 利用目的別では、「仕事」、「通勤」、「通学」での対象区間の利用頻度が高い。

質問① 対象区間（白石市）の道路利用についてお聞きします。

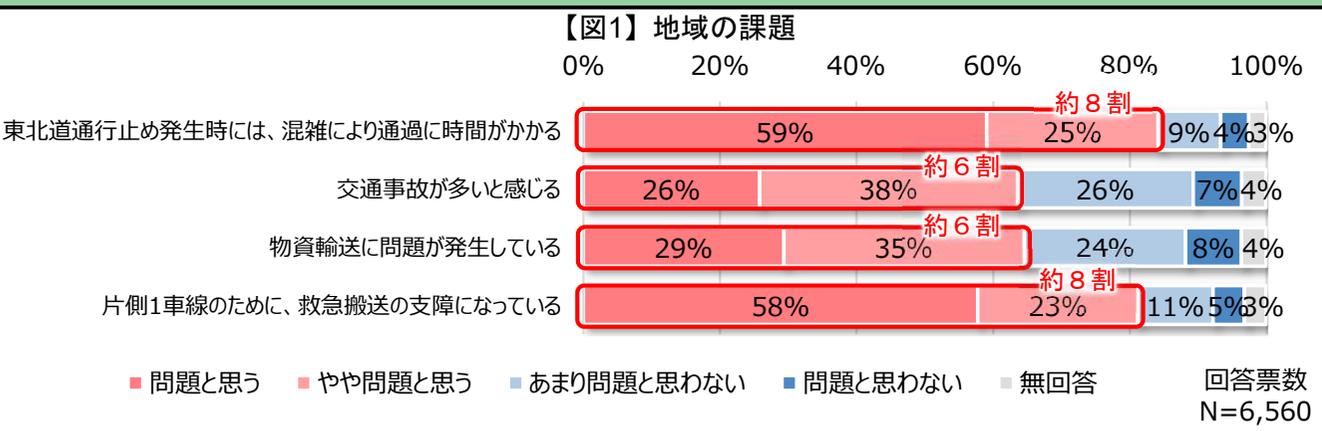


2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題①)

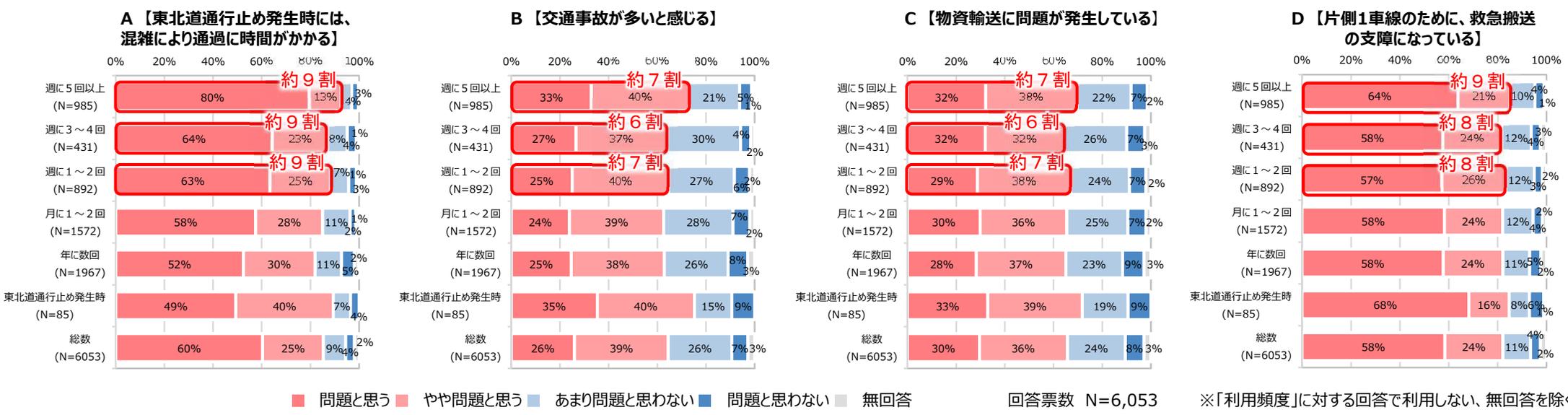
- ◆ 「東北道通行止め発生時には、混雑により通過に時間がかかる」、「片側1車線のために、救急搬送の支障になっている」は、約8割が課題だと感じている。
- ◆ 「東北道通行止め発生時には、混雑により通過に時間がかかる」、「片側1車線のために、救急搬送の支障になっている」は、利用頻度に関わらず課題と認識する人の割合が高い。

質問② 対象区間(白石市)の課題についてお聞きします。

質問②- (1)
 以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。
 A. 東北道通行止め発生時には、混雑により通過に時間がかかる
 B. 交通事故が多いと感じる
 C. 物資輸送に問題が発生している
 D. 片側1車線のために、救急搬送の支障になっている



【図2】利用頻度別における課題の集計



2-4. 住民等への意見聴取の結果(地域課題②)

- ◆ 設定した地域課題においては「事故」に係る意見が最も多く、約5割を占めており、「沿線集落へ右折する車があり、信号機もないため追突事故の危険性が高い」等の意見をいただいた。
- ◆ 「事故」について歩行環境に関する意見も多くいただいた。
- ◆ その他の意見として、道路の信頼性については「東北道通行止めの際、迂回路がないため、国道4号に車が集中して大渋滞となる」等の意見、産業・物流については「片側1車線のため、事故等が発生すると車線が塞がれてしまい、物流に支障がでる」等の意見、救急医療については「路肩が狭く待機場所が限られるため、救急車を優先させづらい」等の意見があった。

質問②-(2) ②-(1)で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記入してください。

【表1】課題に対する自由意見

分類		主な意見
地域課題 【1,786件】	道路の信頼性 【771件】	<ul style="list-style-type: none"> 東北道通行止めの際、迂回路がないため、国道4号に車が集中して大渋滞となる。 並行する東北道の区間は、事故や大雨等により通行止めが多い。 国道4号が渋滞すると沿線からの出入りが困難となり、日常生活に支障がでる。 雪による東北道通行止めの際、渋滞により除雪作業がスムーズに行われず運転に支障がでる。 平成26年の大雪の際、大型トラックの立ち往生により、数10kmに渡り大渋滞した。
	事故 【887件】	<ul style="list-style-type: none"> 沿線集落へ右折する車があり、信号機もないため追突事故の危険性が高い。 交通量が多く、道幅が狭い上にカーブが多いので、トレーラーなどの大型車とのすれ違いが危険。 東北道通行止め時に混雑する区間で、事故の危険性が高いことは問題。 歩道が片側しかない所があり、危険。 歩いていると突然歩道が途切れ、反対車線側へ渡らないと行けない区間がある。
	産業・物流 【90件】	<ul style="list-style-type: none"> 片側1車線のため、事故等が発生すると車線が塞がれてしまい、物流に支障がでる。 片側1車線では東北道通行止め時や災害時に物流に大きな影響がでる。 スマートICや道の駅ができると、今以上に交通量が増加し大混雑が予想される。
	救急医療 【38件】	<ul style="list-style-type: none"> 路肩が狭く待機場所が限られるため、救急車を優先させづらい。 東北道通行止め時に、国道4号が渋滞し救急車両が通行できなくなる懸念がある。 迂回路がなく、大型車も多いため救急搬送に支障がでている。
その他 【1,006件】	整備への要望 【634件】	<ul style="list-style-type: none"> スマートICや道の駅が出来たら更に大きな混雑が予想されるため、早急に片側二車線にすべき。
	その他 【372件】	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーが休憩か仮眠できる場所が少ないので、道の駅があったほうがよい。 渋滞が発生すると、自動車から排出されるCO₂等で環境負荷が増大することが課題。

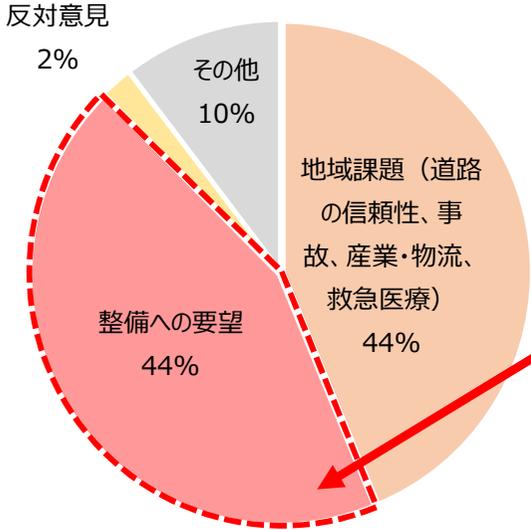
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答件数と回答数合計は一致しない。

2-4. 住民等への意見聴取の結果(意見・要望)

- ◆ 対象区間への意見については、提示した「地域課題」への意見の他、「整備への要望」に関する意見が約4割を占めている。地域課題についての意見は、質問②-(2) (P14)の回答と同じ傾向であった。
- ◆ 「整備への要望」について、新規道路・拡幅等については「片側1車線のため、交通事故発生時や大雪の時に大渋滞となり、通行に支障が生じている。2車線化の早期実現を期待する」等の意見、その他については「歩行者や自転車利用者への配慮が必要」等の意見があった。

質問③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記入してください。

【図1】自由意見の回答内訳 (2,447件)



【表1】その他自由意見

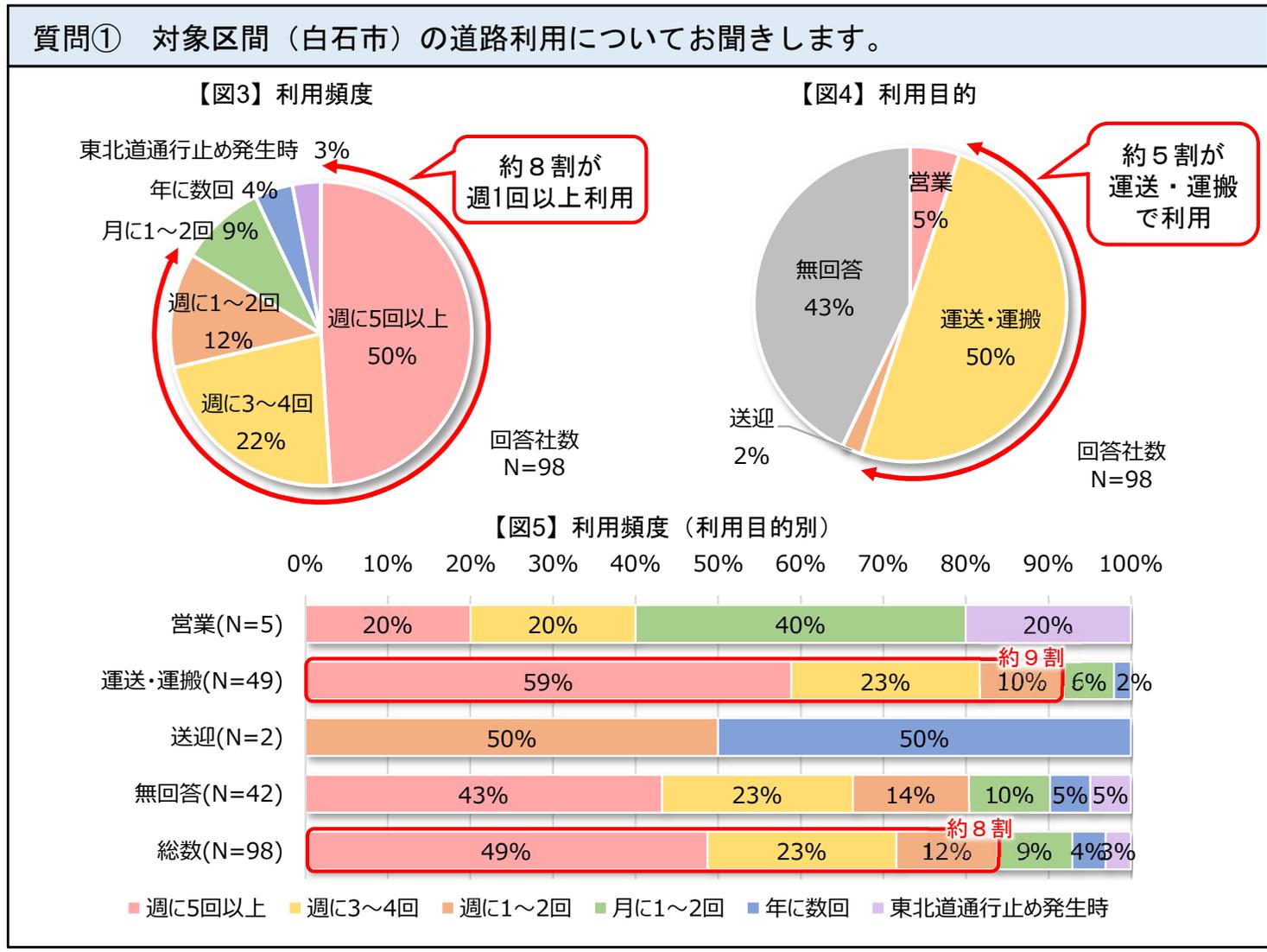
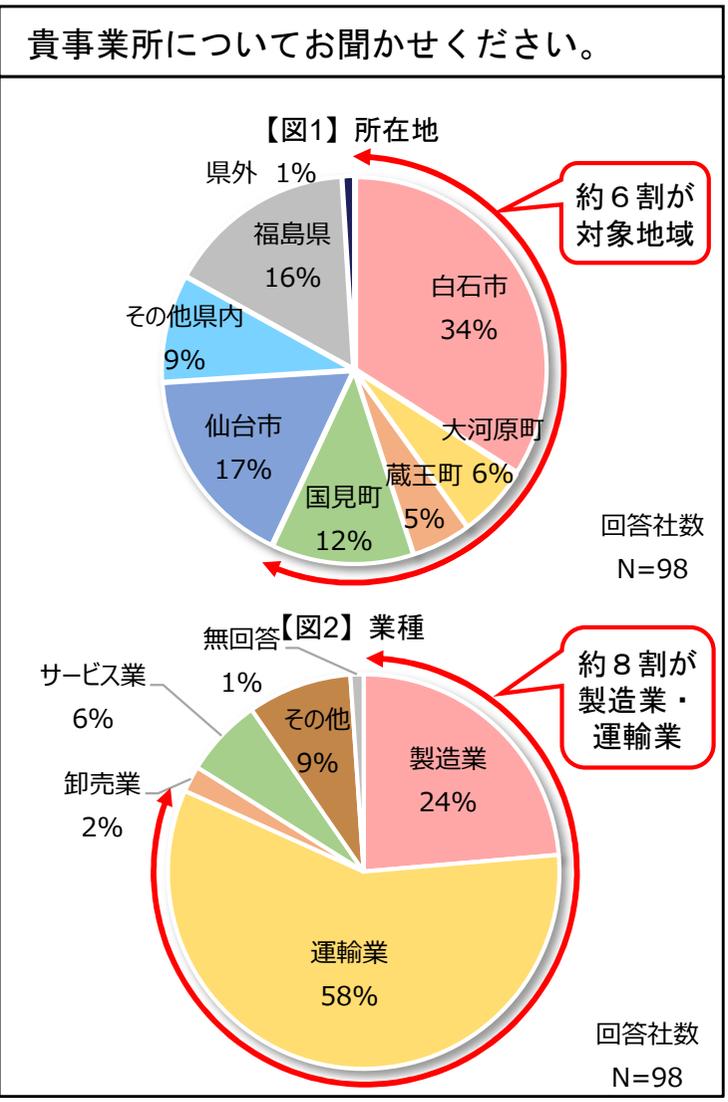
分類		主な意見
整備への要望 【1,071件】	新規道路・拡幅等 【668件】	<ul style="list-style-type: none"> 片側1車線のため、交通事故発生時や大雪の時に大渋滞となり、通行に支障が生じている。2車線化の早期実現を期待する。 (仮称)白石中央スマートICができると大型車両の通行が多くなると思うので、輸送面や安全面を考えると片側2車線にした方が良いと思う。 福島側は拡幅が進んでいるが、宮城側は進んでいない。地域交流のため、福島～仙台間の複線化整備の早期完成をお願いしたい。 この地域を避けたバイパス道路の整備をお願いしたい。
	その他 【403件】	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や自転車利用者への配慮が必要。 道の駅等の周辺事業と連携しながら整備を進めるべき。 自然の景観を損なわない整備を進めてください。
反対意見 【51件】		<ul style="list-style-type: none"> 通行量に対し、費用対効果は望めない。
その他 【254件】		<ul style="list-style-type: none"> 大型車が多いため、振動が激しい。

※地域課題 (道路の信頼性、事故、産業・物流、救急医療) の意見数 : 1,071件
 ※地域課題4項目以外の意見数 : 1,376件

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答件数と回答数合計は一致しない。

2-5. 事業者への意見聴取の結果(属性・道路利用)

- ◆ アンケート結果は、約6割がアンケート調査対象地域からの回答であり、「製造業」、「運輸業」からの回答が約8割を占めた。
- ◆ 利用頻度は週1回以上が約8割、利用目的は「運送・運搬」が約5割を占めた。
- ◆ 利用頻度の利用目的別では、週1回以上の「運送・運搬」で利用割合が約9割と高い。



2-5. 事業者への意見聴取の結果(地域課題①)

- ◆ 「東北道通行止め発生時には、混雑により通過に時間がかかる」、「片側1車線のために、救急搬送の支障になっている」は、約9割が課題だと感じている。
- ◆ 「東北道通行止め発生時には、混雑により通過に時間がかかる」、「片側1車線のために、救急搬送の支障になっている」は、利用頻度に関わらず課題と認識する人の割合が高い。

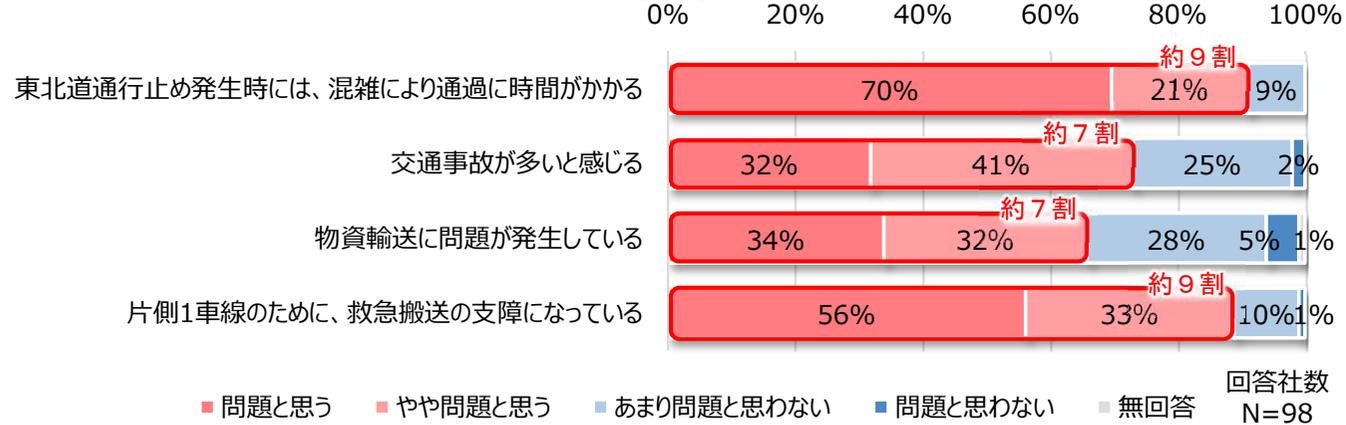
質問② 対象区間(白石市)の課題についてお聞きします。

質問②- (1)

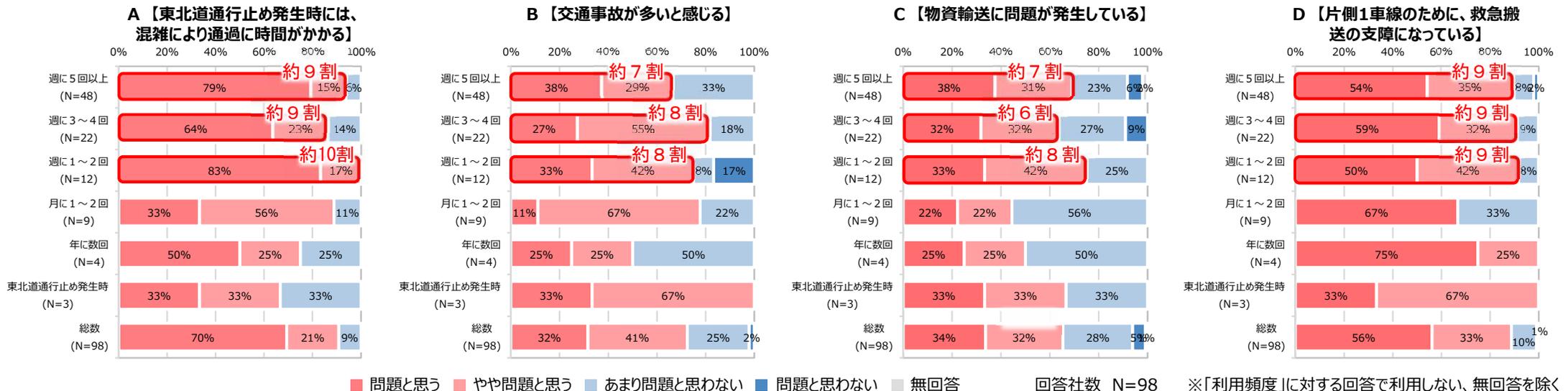
以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

- A. 東北道通行止め発生時には、混雑により通過に時間がかかる。
- B. 交通事故が多いと感じる。
- C. 物資輸送に問題が発生している
- D. 片側1車線のために、救急搬送の支障になっている。

【図1】地域の課題



【図2】利用頻度別における課題の集計



2-5. 事業者への意見聴取の結果(地域課題②)

- ◆ 設定した地域課題においては「事故」に係る意見が最も多く、約7割を占めている。
- ◆ 「事故」については「歩道が狭いところがあり、車の往来が多い時に危険を感じる」等の歩行環境に関する意見もいただいた。
- ◆ その他の意見として、道路の信頼性については「東北道通行止め時や事故発生時は、すぐに混雑して大渋滞となる」等の意見、産業・物流については「幅員が狭いため、大型車での運転に気を遣う」等の意見があった。

質問②- (2) ②- (1) で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記入してください。

【表1】 課題に対する自由意見

分類		主な意見
地域課題 【37件】	道路の信頼性 【10件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北道通行止め時や事故発生時は、すぐに混雑して大渋滞となる。 ・ 大型車が迂回できる道路がないことは問題。
	事故 【25件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道集落への接続道路付近に右折車線等がなく、追突しそうになる。 ・ 歩道が狭いところがあり、車の往来が多い時に危険を感じる。 ・ 降雪時など、片側1車線で幅員が狭いため危険を感じる。
	産業・物流 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員が狭いため、大型車での運転に気を遣う。 ・ 対象区間起点側は、幅員が狭く、機材運搬時に気を遣う。
	救急医療 【0件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ —
その他 【16件】	整備への要望 【12件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の高速道路通行止めに備え、幹線道路として4車線化が必要。 ・ 福島県国見町から白石市までの完全四車線化の早期実現を望む。 ・ 早期の対象区間の4車線開通を望む。
	その他 【4件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雪時に通行止めになると、食料補給やトイレ休憩ができる沿道施設がない。

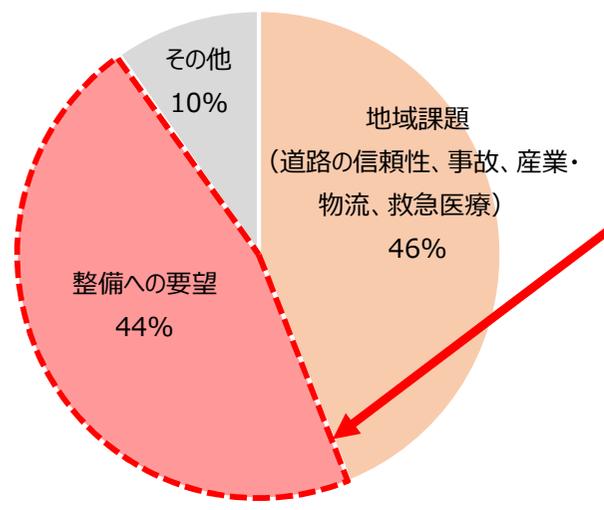
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答件数と回答数合計は一致しない。

2-5. 事業者への意見聴取の結果(意見・要望)

- ◆ 対象区間への意見については、提示した「地域課題」への意見の他、「整備への要望」に関する意見が約4割を占めている。地域課題についての意見は、質問②-(2) (P18) の回答と同じ傾向であった。
- ◆ 「整備への要望」について、新規道路・拡幅等については「スマートICができて高速道路通行止め時は国道4号が大渋滞するため、国道4号の4車線化が進むとよい」等の意見、その他については「歩道が狭いところがあり、車の往来が多い時に危険だと感じるので解消してほしい」等の意見があった。

質問③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記入してください。

【図1】自由意見の回答内訳 (41件)



【表1】その他自由意見

分類		主な意見
整備への要望 【18件】	新規道路・拡幅等 【12件】	<ul style="list-style-type: none"> スマートICができて高速道路通行止め時は国道4号が大渋滞するため、国道4号の4車線化が進むとよい。 朝夕は混雑するため、4車線化になると助かる。 スマートインターと道の駅、工業団地が出来るので、混雑が発生すると思う。早期に越河までの車線拡張を望む。 自転車や人の飛出し事故防止ため、バイパス化を望む。
	その他 【6件】	<ul style="list-style-type: none"> 歩道が狭いところがあり、車の往来が多い時に危険だと感じるので解消してほしい。 スマートインター整備を契機に、走りやすい道路整備を望む。
その他 【4件】		<ul style="list-style-type: none"> 広い休憩所があればいい。 自然や景観を損なわないでほしい。

※地域課題 (道路の信頼性、事故、産業・物流、救急医療) の意見数：19件
 ※地域課題4項目以外の意見数：22件

※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答件数と回答数合計は一致しない。

2-6. 関係団体ヒアリングの結果

- ◆ 道路の信頼性については、東北道通行止め時の渋滞による事業活動への影響等の意見があった。
- ◆ 事故については、沿道出入りによる事故危険性の指摘や、歩道の必要性等の意見があった。
- ◆ 産業・物流については、スマートICの整備や周辺開発による交通量増加の懸念や、東北道通行止め時に運転手の負担が増加する等の意見があった。
- ◆ 救急医療については、幅員狭小による救急搬送阻害等の意見があった。

【表1】関係団体意見（回答団体数26団体）

分類		主な意見
地域課題	道路の信頼性	<ul style="list-style-type: none"> 雪や事故等で東北道が通行止めになると、国道4号が渋滞しバス運行に遅れが生じ、乗客に迷惑をかけてしまう。全線片側2車線にして頂ければ解決すると思う。(バス事業者) 対象区間の混雑により予定時間内にデイサービス利用者宅に向かえに行くことが出来ず、利用がキャンセルとなる場合がある。(福祉関係) 東北道通行止め時の混雑により時間で動いているツアー客や、一般の周遊観光客に影響が出ている。(観光協会) 大雪時に、国道4号が混雑して通行できず、除雪車が市内各地区に辿りつけず支障が出た。(自治体)
	事故	<ul style="list-style-type: none"> スマートICの地元説明会時に、集落への接続道路付近に右折レーンが無いことから追突の危険性があり、要望が挙がった。(自治体) 沿道出入り車両が急に停止することもあり、危険。(物流業者) 国道4号から沿道へ右折する際、信号未設置箇所が多く危険性が高い。(消防機関) (仮称)白石中央スマートICの周辺に道の駅が整備されると、地域の高齢者など自転車や徒歩での来訪も増え、歩道がないと危険。(警察機関) 歩道がないバス停は危ないので、子供を歩かせるのは怖い。(教育機関)
	産業・物流	<ul style="list-style-type: none"> スマートICの整備や周辺開発が進めば対象区間の需要が増加し、現在より混雑する可能性がある。(製造業者) 東北道通行止め時は、予定の時間で輸送できないためお客様に迷惑をかけている。(農業関連団体) 東北道通行止め時は、所要時間の増加による延着や、それに伴う業務遅延、残業時間の延長、運転手の疲労増加といったリスクが発生。(物流業者) 東北道の通行止めにより国道4号が渋滞し、集配時間に追われることや、工場まで時間どおりに従業員が出勤できずシフト通り交代できないこともあった。(製造業者) 2024年問題等で(仮称)白石中央スマートICができれば、高速道路を利用する輸送ルートは、対象区間を利用しつつ、(仮称)白石中央スマートICを利用するルートに変わる可能性もある。(製造業者)
	救急医療	<ul style="list-style-type: none"> 右折車両がいると救急搬送の阻害にもなる。(自治体) 大型車どうしのすれ違い時は、路肩が狭いため救急車のために道を譲ることができず、そのまま進まざるを得ないことがある。(医療機関) 片側1車線で大型車が多く追い越しが困難なため搬送に時間がかかり、追い越し時の加減速の回数も増えてしまい、患者への負担になっている。(消防機関) 対象区間沿線に消防署が移転するため、救急搬送時の対象区間利用頻度が上昇すると思われるが、対象区間の混雑により緊急車両の出動に支障がでることが懸念される。(消防機関)
その他	整備への要望	<ul style="list-style-type: none"> 対象区間は、大雪等で高速道路・国道4号が通行止めとなり、交通が寸断する危険性がある区間であり、早期に整備してほしい。(自治体) スマートインターや周辺施設への出入りがスムーズな道路整備をお願いしたい。(物流業者) 立往生となると緊急車両も通せない。4車線化が一番だと思う。(バス事業者)

2-7. 第1回地域の意見聴取の結果のとりまとめ

道路の信頼性

- 東北道通行止めの際、**迂回路がない**ため、国道4号に車が集中して大渋滞となる。
- **東北道通行止め時や事故発生時**は、すぐに混雑して大渋滞となる。
- 雪や事故等で東北道が通行止めになると、国道4号が渋滞し**バス運行に遅れが生じ**、乗客に迷惑をかけてしまう。全線片側2車線にして頂ければ解決と思う。

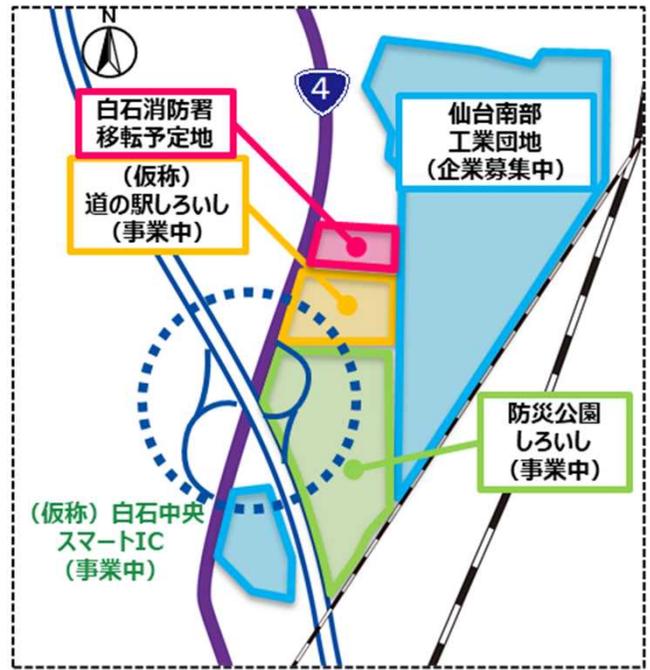
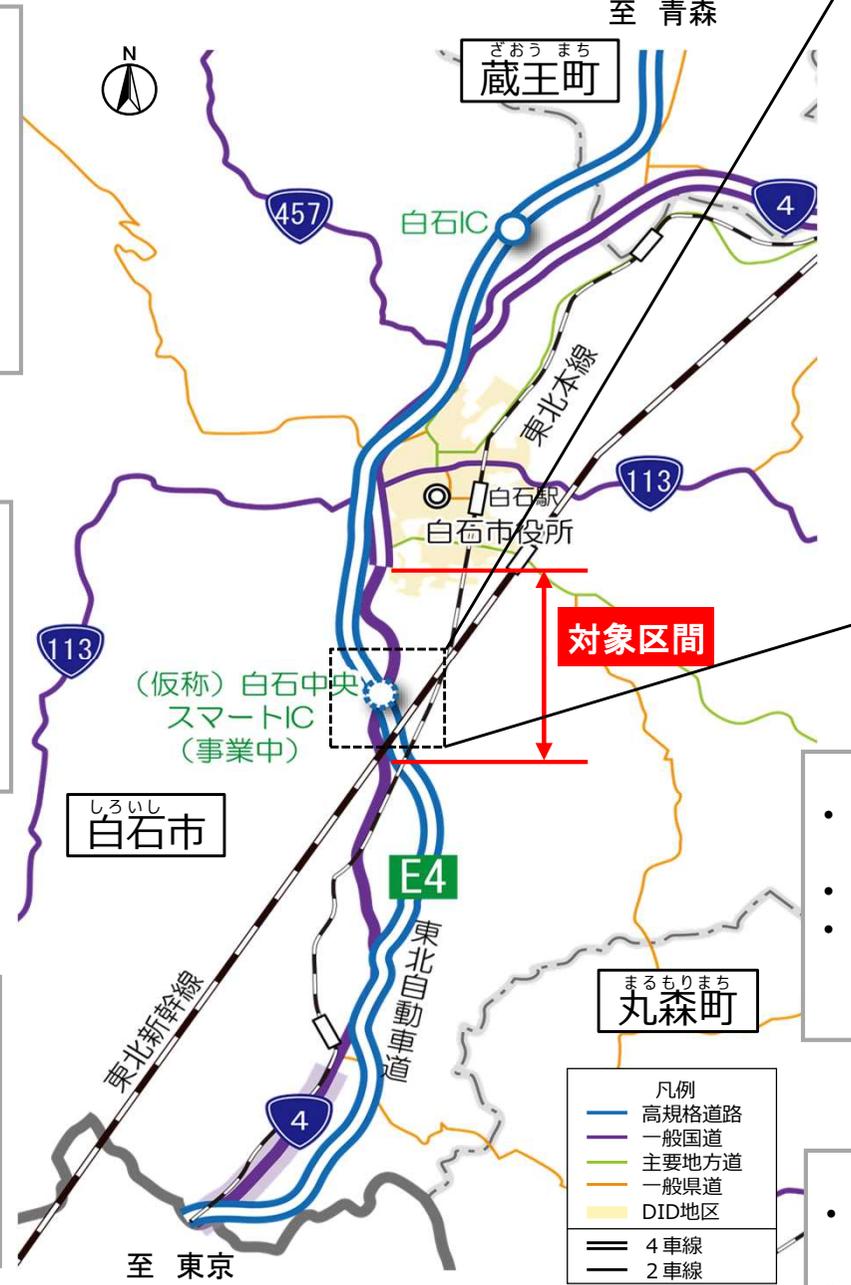
事故

- **沿線集落へ右折**する車があり、信号機もないため追突事故の危険性が高い。
- 沿道集落への接続道路付近に**右折車線がなく**、追突しそうになる。
- 沿道出入り車両が**急に停止**することもあり、危険。

歩行環境

- 歩いていると突然歩道が途切れ、**反対車線側へ渡らないと行けない**区間がある。
- **歩道が狭い**ところがあり、車の往来が多い時に危険を感じる。
- **歩道がないバス停は危ない**ので、子供を歩かせるのは怖い。

【図1】意見聴取結果（課題図）



出典) (仮称)白石中央スマートインターチェンジ 周辺整備基本計画書 (R3年9月)を加工して作成

産業・物流

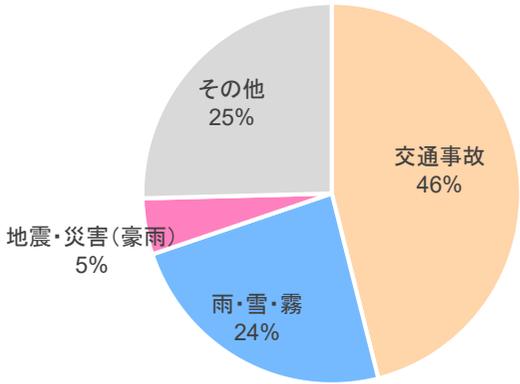
- 片側1車線のため、事故等が発生すると**車線が塞がれてしまい**、物流に支障がでる。
- **幅員が狭い**ため、大型車で運転に気を遣う。
- 東北道通行止め時は、**所要時間の増加による延着や、それに伴う業務遅延、残業時間の延長、運転手の疲労増加**といったリスクが発生。

救急医療

- 路肩が狭く待機場所が限られるため、**救急車を優先させづらい**。
- 右折車両がいると**救急搬送の障害**にもなる。

- ◆ 並行する東北道(国見IC~白石IC間)では、交通事故や雨等による通行止めが多発しており、発生回数は県内最多となっている。
- ◆ 東北道通行止め時には、対象区間の約7割が20km/h未満に速度の低下が発生する。
- ◆ 東北道通行止め時における、代替道路としての機能確保が課題。

【図1】東北道(国見IC~白石IC間)の通行止め原因別発生割合(H25~R4)



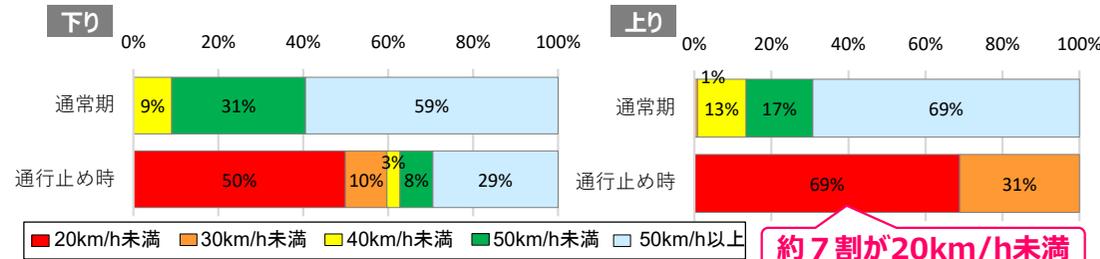
出典)NEXCO資料(H25~R4)

【図3】国道4号対象区間の東北道通行止め時旅行速度(令和4年6月7日)



出典)地理院図を加工して作成、ETC2.0プローブデータ(通行止め時:R4.6.7(8時台)) ※県道以上

【図4】対象区間の旅行速度構成比

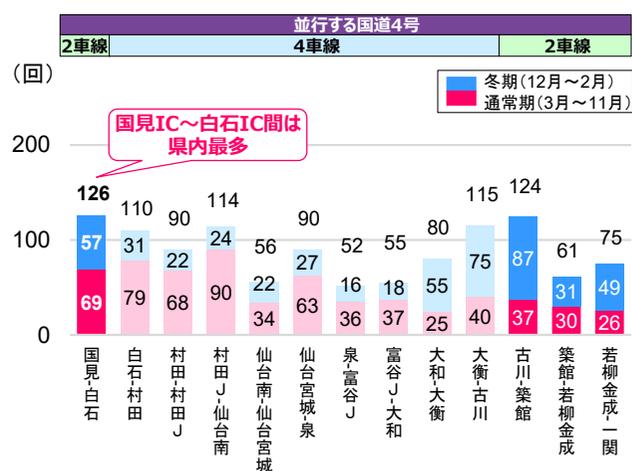


出典)ETC2.0プローブデータ(通常期:R4.9~11、通行止め時:R4.6.7(8時台)) ※県道以上

【写真1】混雑状況



【図2】東北道IC間別通行止め発生回数(H25~R4)



出典)NEXCO資料(H25~R4)

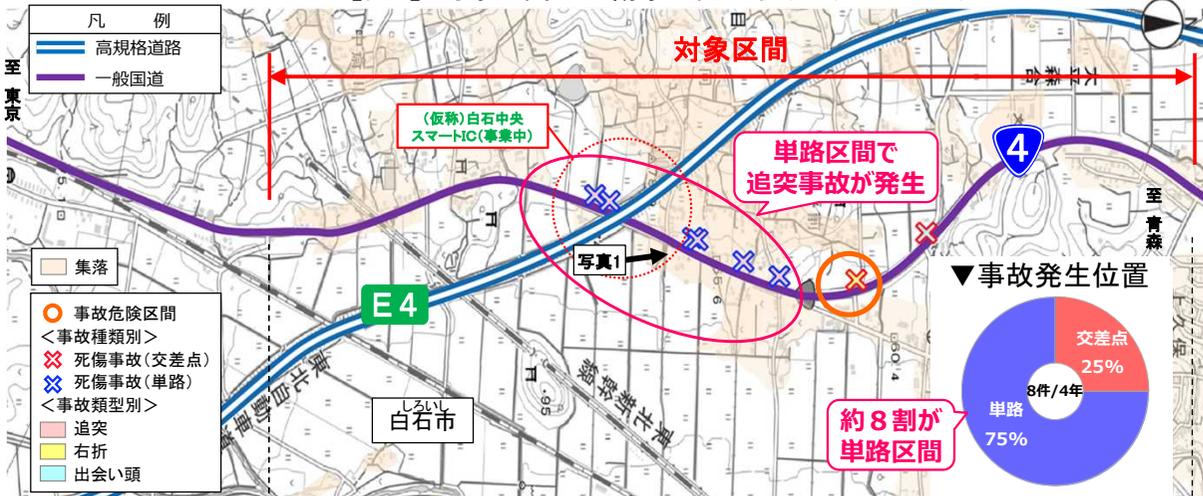
第1回意見聴取結果

- 東北道通行止めの際、**迂回路がない**ため、国道4号に車が集中して大渋滞となる。
- 並行する東北道の区間は、事故や大雨等により**通行止めが多い**。
- **東北道通行止め時や事故発生時**は、すぐに混雑して大渋滞となる。
- 雪や事故等で東北道が通行止めになると、国道4号が渋滞し**バス運行に遅れが生じ**、乗客に迷惑をかけるしまう。

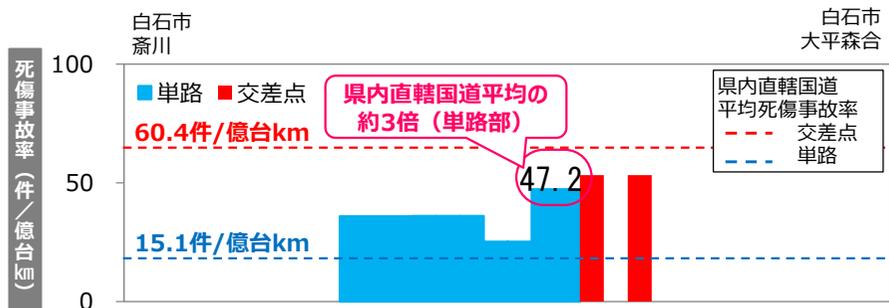
2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(事故)

- ◆ 対象区間では、発生している事故の約8割が単路区間に集中し、県内直轄国道平均の約3倍となる単路区間が存在。
- ◆ 対象区間は、接続道路数が隣接する2車線区間よりも多く、集落への接続道路周辺で追突事故が発生しやすい状況。
- ◆ 交通安全面では、幹線道路として安全に通行できる機能の確保が課題。

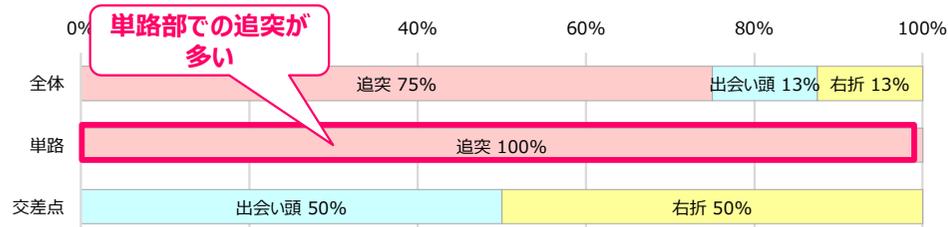
【図1】対象区間の死傷事故発生状況 (H30~R3)



【図3】対象区間の死傷事故発生状況 (H30~R3)



【図4】対象区間の死傷事故類型別発生割合 (H30~R3)



【写真1】対象区間の沿道出入り箇所

出典)イタルダデータ(H30-R3)



第1回意見聴取結果

- 沿線集落へ右折する車があり、信号機もないため追突事故の危険性が高い。
- 沿道出入り車両が急に停止することもあり、危険。



2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(歩行環境)

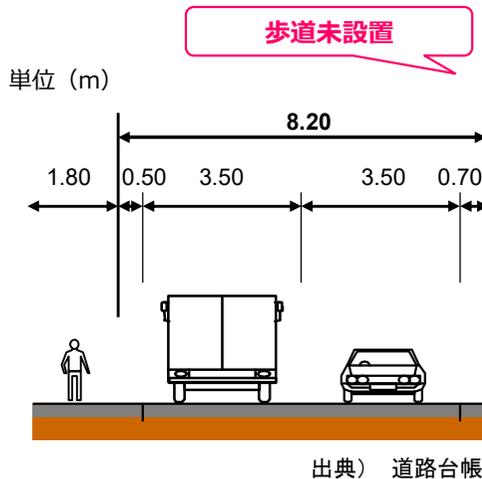
- ◆ 対象区間の一部は白石市民バスの運行ルートとなっており、中学校の通学ルートとしても使われている。
- ◆ 対象区間の一部には歩道未設置区間が存在し、その中には白石市民バスのバス停が存在している箇所もある。
- ◆ バス利用者等を含め歩行者が安心して通行できる歩行空間の確保が課題。

【図1】対象区間の歩道設置状況と通学ルートの例



出典) 歩道のある区間：道路台帳、通学ルート：中学校ヒアリング結果 (R5. 7)

【図2】横断図(断面①)

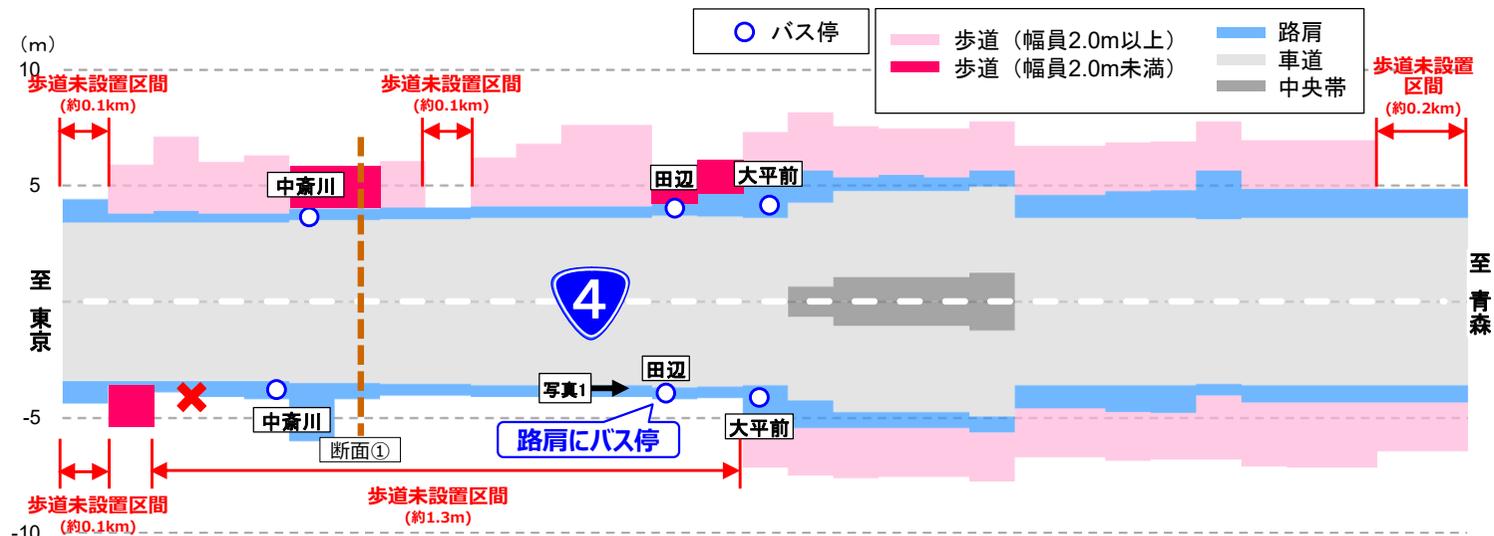


出典) 道路台帳

【写真1】歩道未設置区間のバス停状況



【図3】対象区間の歩道整備状況



出典) 道路台帳、MICHIDATAから作成

第1回意見聴取結果

- 歩いていると**突然歩道が途切れ、反対車線側へ渡らないと行けない区間**がある。
- **歩道が狭い**ところがあり、車の往来が多い時に危険を感じる。
- **歩道がないバス停は危険**なので、子供を歩かせるのは怖い。

2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(産業・物流)

- ◆ スマートフォンなどに使用する「ノイズ抑制シート」の世界シェア約3割を占める電子機器製造メーカーでは、原材料の仕入れや製品出荷で対象区間を利用しているが、東北道通行止め時の混雑により、工場稼働等に支障が発生している状況。
- ◆ また、上記企業は工場増設を予定しており、製造品目増加等に伴い対象区間は物流ルートとして重要性が増している。
- ◆ 対象区間沿線では(仮称)白石中央スマートIC等の整備が進められているが、スマートICの整備に伴い対象区間の利用増加が予想される。
- ◆ 地域産業の支援に向けて、円滑な物流環境の確保が必要。

【図1】 電子機器に関する原材料や製品の輸送ルート



【図2】 主な電子機器製品の例

ノイズ抑制シート

スマートフォンや車載ディスプレイ等の電子機器の内部で発生する電磁的なノイズを抑制するシート

世界シェア約3割

医療機器用機材・部品

医療施設や研究施設向けの個別設計の電磁石や、医療用のガイドワイヤなどに活用される合金等を提供

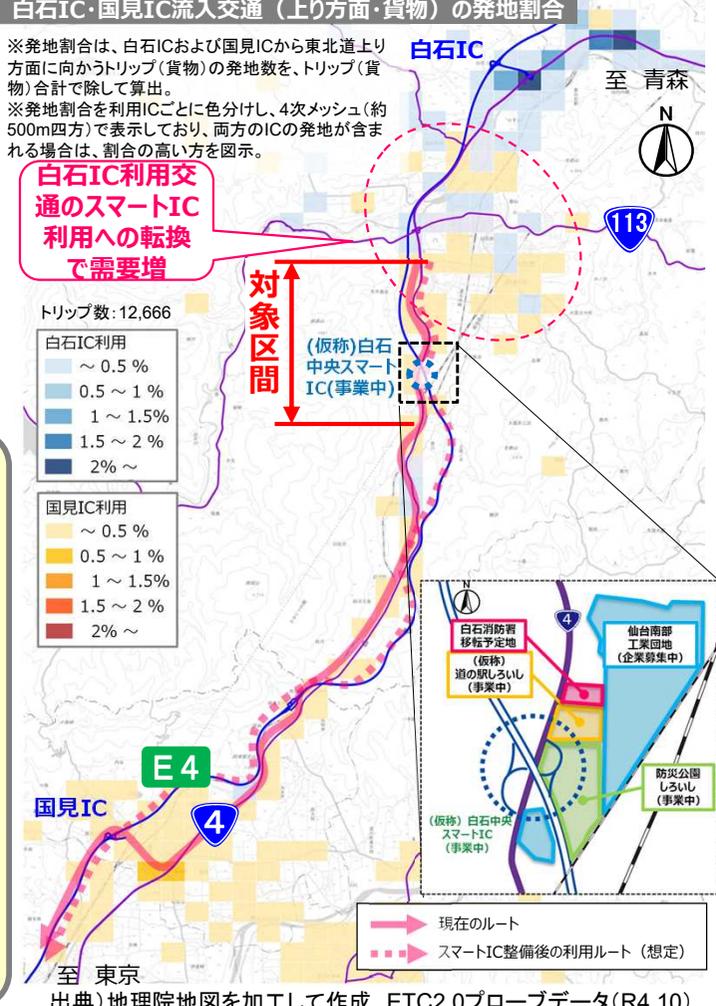
新工場で製造

出典) 電子機器製造メーカーヒアリング結果(R5.7)

第1回意見聴取結果

- ・ スマートICの整備や周辺開発が進めば**対象区間の需要が増加**し、現在より混雑する可能性がある。
- ・ 東北道の通行止めにより国道4号が渋滞し、集配時間に追われることや、工場まで時間どおりに**従業員が出社できずシフト通り交代できない**こともあった。
- ・ 2024年問題等で(仮称)白石中央スマートICができれば、**高速道路を利用する輸送ルートは、対象区間を利用しつつ、(仮称)白石中央スマートICを利用するルートに変わる可能性もある。**

【図3】 東北道白石IC・国見ICの利用圏域



2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(救急医療)

- ◆ 対象区間は、周辺地区から医療機関への救急搬送に利用されており、救急搬送件数は増加傾向となっている。
- ◆ 対象区間の大型車混入率は、県内国道4号平均の約2倍となっており、また、東北道通行止め時は更に救急車が搬送しづらい状況となっており、搬送に時間がかかっている。
- ◆ 救急搬送ルートとして、安定性と速達性の確保が課題。

【図1】対象区間を通行する救急搬送の状況



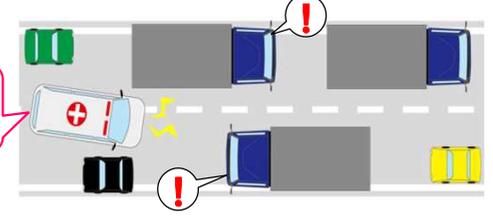
出典) 消防署ヒアリング結果(R5.7)

【図2】対象区間を利用する救急搬送件数の推移



出典) 消防署ヒアリング結果(R5.7)

【図5】救急搬送時の問題点



第1回意見聴取結果

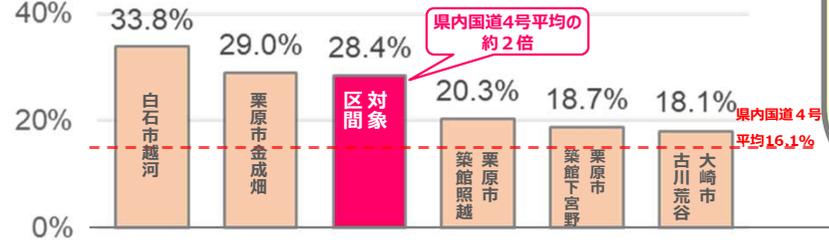
- 迂回路がなく、**大型車も多い**ため救急搬送に支障がでている。
- 大型車どうしのすれ違い時は、**路肩が狭いため**救急車のために道を譲ることができず、そのまま進まざるを得ないことがある。
- 片側1車線で大型車が多く追い越しが困難なため**搬送に時間がかかり**、追い越し時の加減速の回数も増えてしまい、患者への負担になっている。

【図3】県内国道4号2車線区間*の交通量



出典) 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査

【図4】県内国道4号2車線区間*の大型車混入率



出典) 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査

※事業中区間除く

【表1】 道路交通・地域の課題とその原因 (第1回委員会提示案に意見聴取結果を踏まえた内容を赤字で反映)

	課題	原因	政策目標(素案)
道路の信頼性	<ul style="list-style-type: none"> ○東北道通行止め発生時の混雑 ・ 並行する東北道では、通行止め発生回数が県内最多 ・ 東北道通行止め時には、対象区間の約7割が20km/h未満に速度低下 	○交通容量不足	代替道路としての機能向上
事故	<ul style="list-style-type: none"> ○県内平均を上回る事故危険性 ・ 死傷事故率が高い交差点や、県内直轄国道平均の約3倍となる単路区間が存在 ・ 単路部では、集落への接続道路周辺で追突事故が発生 	○沿道の出入り	交通安全の確保
歩行環境	<ul style="list-style-type: none"> ○不十分な歩行環境 ・ 安全な歩行空間の確保が必要 	○歩行空間の不足	安全・安心な歩行環境の確保
産業・物流	<ul style="list-style-type: none"> ○不安定な物流ルート ・ 東北道通行止め時に資材・製品の入出荷や事業活動に支障が発生 ・ スマートICや周辺整備が計画され国道4号の重要性が増大。地域産業の支援に向け、安定したアクセスルートの確保が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通容量不足 ○交通需要の増加 	物流・地域産業を支える幹線道路の強化
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> ○不十分な救急搬送環境 ・ 片側1車線で大型車が多いため、救急車が搬送しづらい状況 ・ 東北道通行止め時は、対象区間の通過に遅れが生じ、患者の負担となっている 	○2車線区間に大型車が集中	安定した救急搬送ルートの確保

3-1. 政策目標の設定

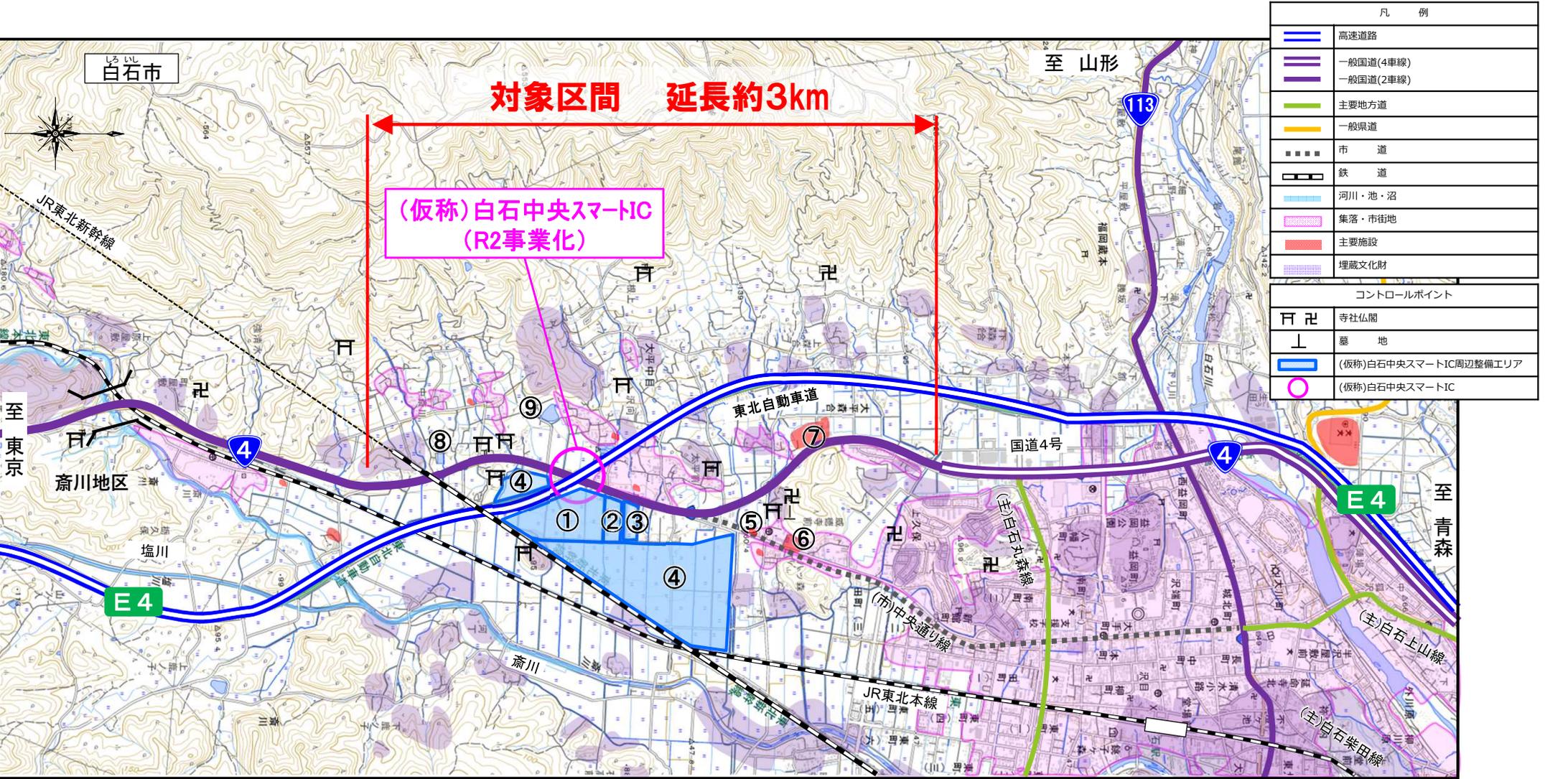
◆ 第1回地域の意見聴取の結果から、「代替道路としての機能向上」「交通安全の確保」「安全・安心な歩行環境の確保」「物流・地域産業を支える幹線道路の強化」「安定した救急搬送ルートの確保」の5項目を政策目標とする。

	道路の信頼性	事故	歩行環境	産業・物流	救急医療
道路交通・地域の課題	○東北道通行止め発生時の混雑	○県内平均を上回る事故危険性	○不十分な歩行環境	○不安定な物流ルート	○不十分な救急搬送環境
地域の将来像	【第六次白石市総合計画】 ◆安心して通行できる道路整備の推進 ・少子高齢化や激甚化する災害など、様々なリスクに対応する強靱で安全・安心な道路整備を計画的に実施する	【第二次白石市都市計画マスタープラン】 ・交通量が多い国道4号の安全性を確保する必要がある	【第11次宮城県交通安全計画】 ◆道路環境の整備 ・歩道等の交通安全施設等の整備を実施することにより、自動車、自転車、歩行者等が分離された安全な道路交通環境を形成する	【新・宮城の将来ビジョン】 ◆富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進—時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	【第7次宮城県地域医療計画】 ◆救急搬送体制の充実 ・現場到着から医療機関等への収容までの時間の短縮を図るため、医療機関との連携強化による迅速かつ円滑な搬送体制の整備を推進
住民や事業者への意見聴取結果	・住民の約8割、事業者の約9割が課題と認識 ・「東北道通行止めの際、迂回路がないため、国道4号に車が集中して大渋滞となる」等の意見が寄せられた。 ・「対象区間の混雑により予定時間内にデイサービス利用者宅に向かえ行くことが出来ず、利用がキャンセルとなる場合がある」等の意見が寄せられた。	・住民の約6割、事業者の約7割が課題と認識 ・「沿線集落へ右折する車があり、信号機もないため追突事故の危険が高い」等の意見が寄せられた。 ・「降雪時など、片側1車線で幅員が狭いため危険を感じる」等の意見が寄せられた。	・住民の約6割、事業者の約7割が事故を課題と認識 ・「歩道が片側しかない所があり、危険」等の意見が寄せられた。 ・「(仮称)白石中央スマートICの周辺に道の駅が整備されると、地域の高齢者など自転車や徒歩での来訪も増え、歩道がないと危険」等の意見が寄せられた。	・住民の約6割、事業者の約7割が課題と認識 ・「片側1車線では東北道通行止め時や災害時に物流に大きな影響がでる」等の意見が寄せられた。 ・「スマートICの整備や周辺開発が進めば対象区間の需要が増加し、現在より混雑する可能性がある」等の意見が寄せられた。	・住民の約8割、事業者の約9割が課題と認識 ・「路肩が狭く待機場所が限られるため、救急車を優先させづらい」等の意見が寄せられた。 ・「迂回路がなく、大型車も多いため救急搬送に支障がでている」等の意見が寄せられた。

政策目標	代替道路としての機能向上	交通安全の確保	安全・安心な歩行環境の確保	物流・地域産業を支える幹線道路の強化	安定した救急搬送ルートの確保
------	--------------	---------	---------------	--------------------	----------------

4-1. 対策案のコントロールポイントの考え方(施設等)

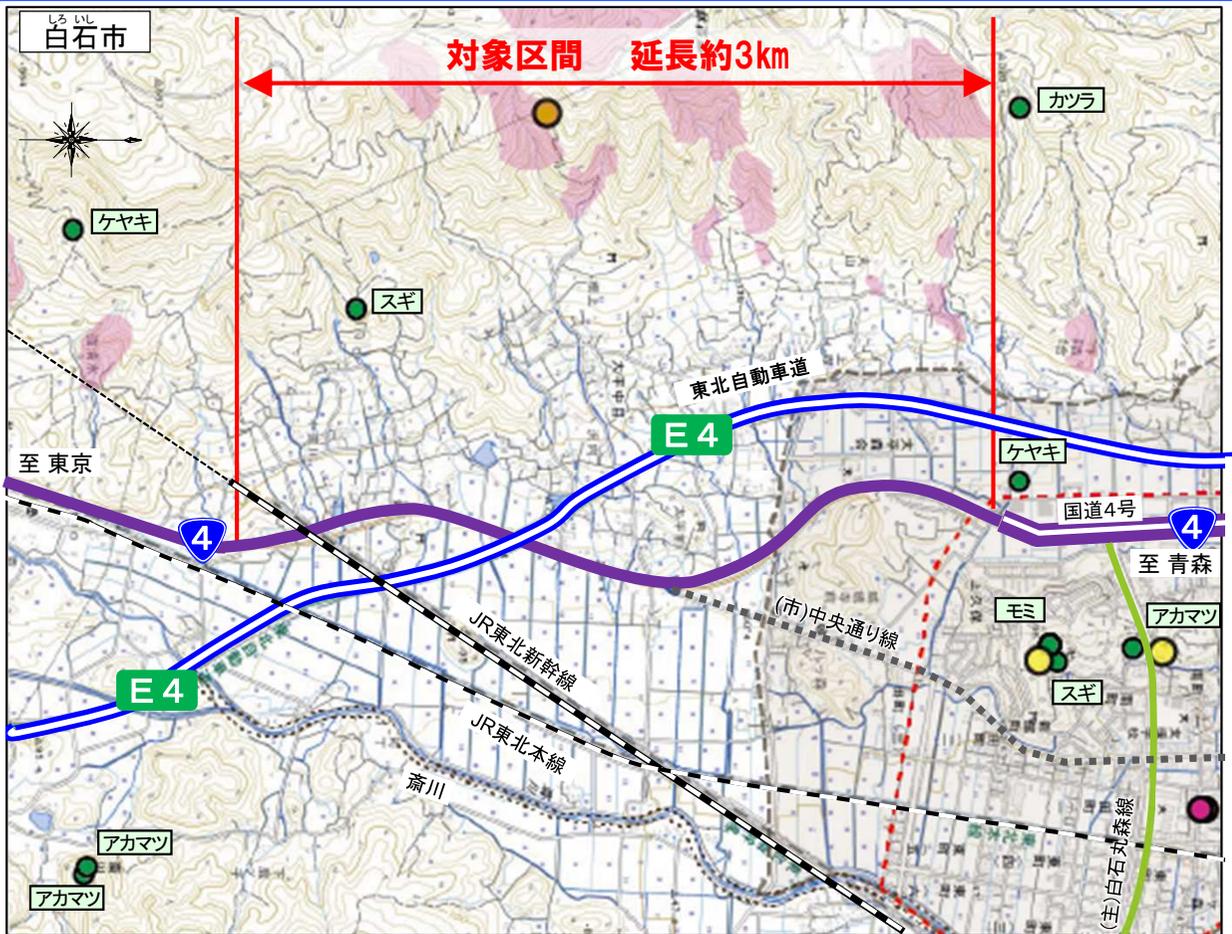
◆ 神社・仏閣・墓地、公共施設等への影響を踏まえ下記のとおりコントロールポイントを設定。



- 【コントロールポイント(主要施設等)】
- ①防災公園しろいし ②(仮称)道の駅しろいし ③白石消防署(移転予定地) ④仙台南部工業団地 ⑤白石市学校給食センター ⑥白石警察署
 - ⑦白石市立大平小学校 ⑧別当溜池 ⑨銭坂溜池

4-2. 地域に配慮すべき事項(自然環境)

◆ 既往文献から、重要な動植物の生息・生育の可能性があり、影響に配慮する必要がある。



カモシカ
 ・文化庁:特別天然記念物
 ・宮城県:要注目種
 鯨偶蹄目ウシ科ヤギ亜科の哺乳類。中国地方を除いた本州、四国、九州の山地や丘陵地に生息している日本固有種。
 出典) 白石市



トウキョウダルマガエル
 ・環境省:準絶滅危惧種
 ・宮城県:準絶滅危惧種
 アカガエル科の両生類。仙台平野、関東平野、新潟県と長野県の一部、北海道の一部の池や湿地等に生息している日本固有種。

- 動物**
 ■ 周辺で確認されている重要種
- ・カヤネズミ (宮城県:要注目種)
 - ・カモシカ (文化庁:特別天然記念物、宮城県:要注目種)
 - ・クマタカ (国内希少野生動物種、環境省:絶滅危惧I類、宮城県:絶滅危惧II類)
 - ・アオバズク (宮城県:絶滅危惧II類)
 - ・トウキョウダルマガエル (環境省:準絶滅危惧種、宮城県:準絶滅危惧種)
 - ・ギバチ (環境省:絶滅危惧II類、宮城県:準絶滅危惧種)
 - ・オオムラサキ (環境省:準絶滅危惧種)
 - ・ヒメギフチョウ本州亜種 (環境省:準絶滅危惧種、宮城県:準絶滅危惧種)
- 他

- 植物**
 ■ 周辺で確認されている重要種
- ・ヒメクリ (環境省:絶滅危惧II類、宮城県:絶滅危惧II類)
 - ・ノダイオウ (環境省:絶滅危惧II類、宮城県:準絶滅危惧種)
 - ・ミズオオバコ (環境省:絶滅危惧II類、宮城県:絶滅危惧II類)
 - ・サンショウモ (環境省:絶滅危惧II類、宮城県:準絶滅危惧種)
- 他

凡例			
	高速道路		巨樹・巨木林
	一般国道(4車線)		国指定文化財
	一般国道(2車線)		県指定文化財
	主要地方道		市指定文化財
	市道		県指定鳥獣保護区
	鉄道		県指定指定猟法禁止区域
	保安林(民有林)		
	県指定景観計画区域		

出典)
 「環境アセスメントデータベース"EADAS"」(環境省)
 「宮城県レッドデータブック2016」(宮城県)
 「宮城県レッドリスト2021年版の公表について」(R4.3 宮城県)
 「令和4年 宮城県鳥獣保護区等位置図」(R4.10 宮城県)
 「自然環境調査 WEB-GIS-生物多様性センター-」(環境省 自然環境局)

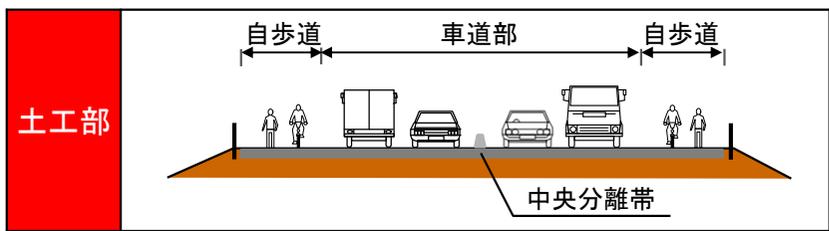
4-3. ルート帯案の検討 [A案:現道改良案]

◆ 現道拡幅とすることで現道機能強化を図り、課題解消を図る。

■ 整備概要

延長	約3km	設計速度	V=60km/h
構造	土工、橋梁等		
コスト	約100~140億円		

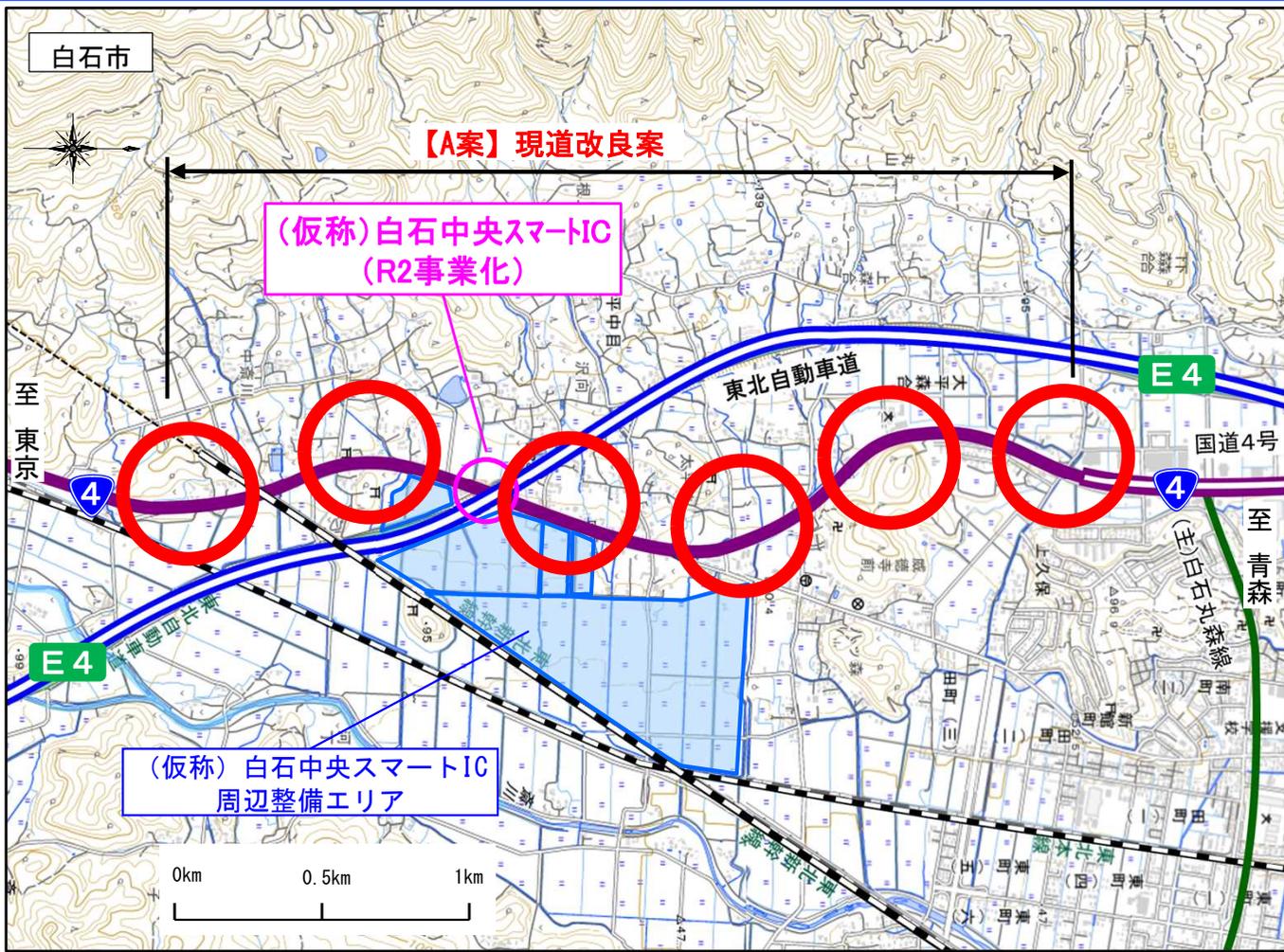
■ 代表断面図 (イメージ)



■ ポイント

- 必要車線数の確保により、交通容量の拡大を図る (交通混雑の緩和)
- 交通容量の拡大により、交通混雑や沿道出入りに起因する事故の発生を抑制し、走行時の安全性を確保する (事故削減)
- 歩道整備により、安全・安心な歩行環境を確保する
- 現道拡幅のため、沿道生活環境への影響が大きい
- 現道拡幅のため、地形改変が小さく、自然環境への影響を極力回避
- 現道拡幅のため、現道沿いで白石市が実施中の(仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアと直接接続する

内容



凡 例	
○	A案 現道改良案
■	高速道路
■	一般国道(4車線)
■	一般国道(2車線)
■	主要地方道
■	(仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリア
○	(仮称)白石中央スマートIC

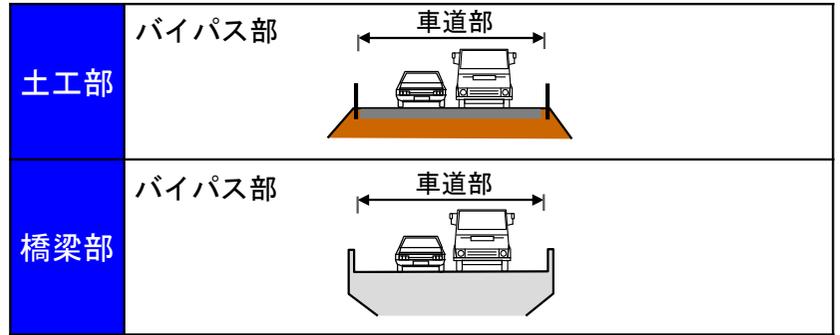
4-3. ルート帯案の検討 [B案:バイパス案]

◆ バイパス整備とすることで交通転換を図り、課題解消を図る。

整備概要

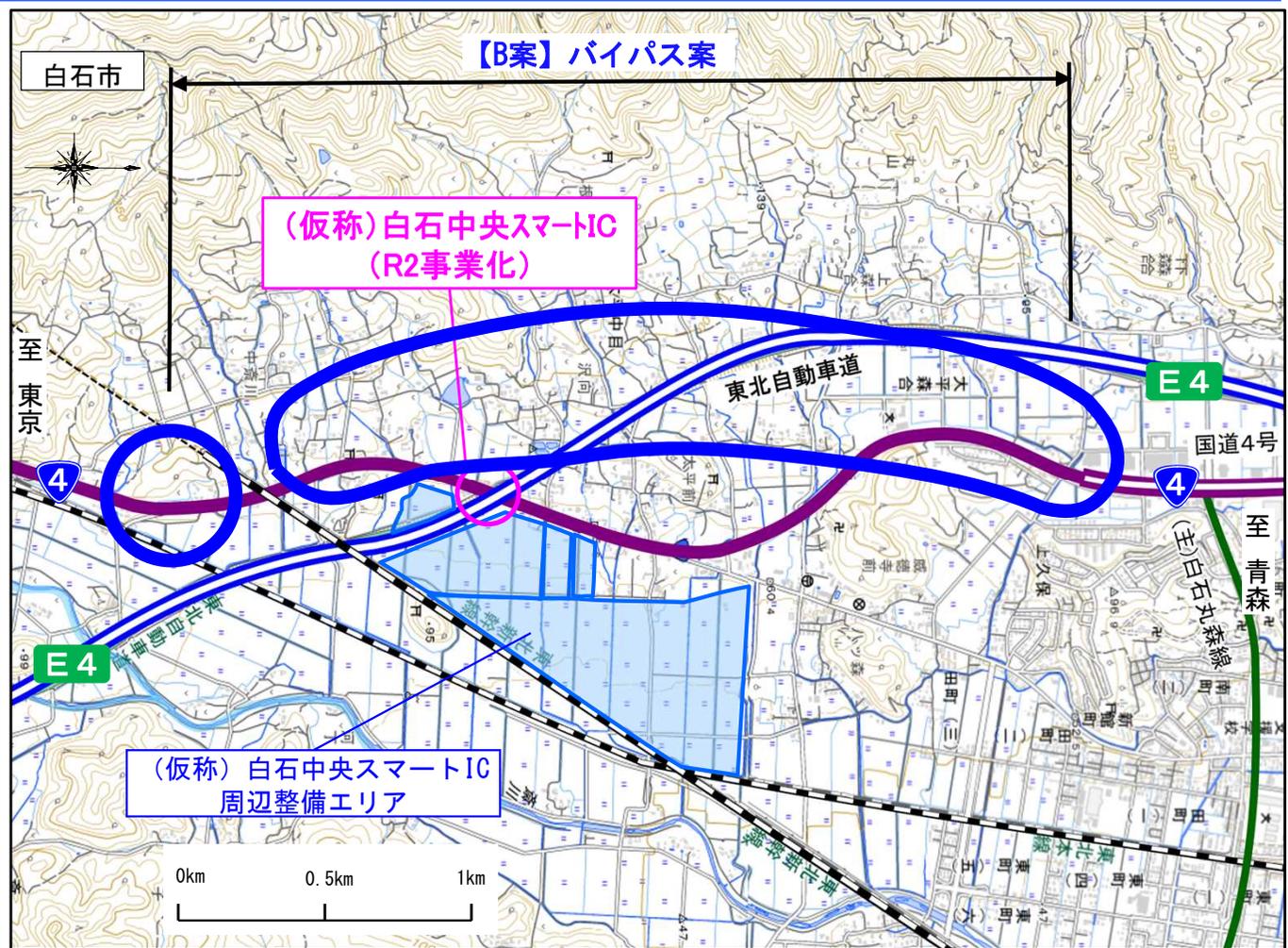
延長	約3km	設計速度	V=60km/h
構造	土工、橋梁等		
コスト	約130~170億円		

代表断面図 (イメージ)



ポイント

- バイパス整備 (一部現道拡幅) により、**交通容量の拡大を図る (交通混雑の緩和)**
- 交通容量の拡大により、**交通混雑や沿道出入りに起因する事故の発生を抑制し、走行時の安全性を確保する (事故削減)**
- バイパス整備による現道の交通量減少により、**安全・安心な歩行環境を確保する**
- 現道拡幅区間は**沿道生活環境への影響が大きい**が、バイパス区間は**沿道生活環境への影響が小さい**
- バイパス区間が主のため、**地形の改変が大き**く、**自然環境への影響が大きい**
- バイパス整備のため、現道沿いで白石市が実施中の (仮称) 白石中央スマートIC周辺整備エリアと直接接続しない



凡 例	
	B案 バイパス案
	高速道路
	一般国道(4車線)
	一般国道(2車線)
	主要地方道
	(仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリア
	(仮称)白石中央スマートIC

4-4. 評価項目の設定

- ◆ 政策目標を達成するために求められる機能について整理し、対象地域の課題を踏まえて評価項目を設定。
- ◆ 配慮すべき事項については、道路整備による影響等を考慮し、評価項目を設定。

【表1】 評価項目の設定

課題	政策目標	求められる機能	評価項目
道路の信頼性	代替道路としての機能向上	十分な交通容量を確保することで速度低下を改善し交通混雑を緩和する道路	・ 交通容量の確保
事故	交通安全の確保	沿道出入りに起因する事故を抑制することにより、走行時の安全性を確保する道路	・ 安全な交通環境
歩行環境	安全・安心な歩行環境の確保	歩行空間を確保することで歩行環境を改善し、安全性を向上する道路	・ 安全・安心な歩行環境
産業・物流	物流・地域産業を支える幹線道路の強化	幹線道路として安定して走行できる物流ルートを確認し、物流・地域産業を支援する道路	・ 物流ルートの走行性、速達性の向上
救急医療	安定した救急搬送ルートの確保	救急搬送における安定した走行と速達性の向上を支援する道路	・ 救急搬送ルートの安定性、速達性の向上

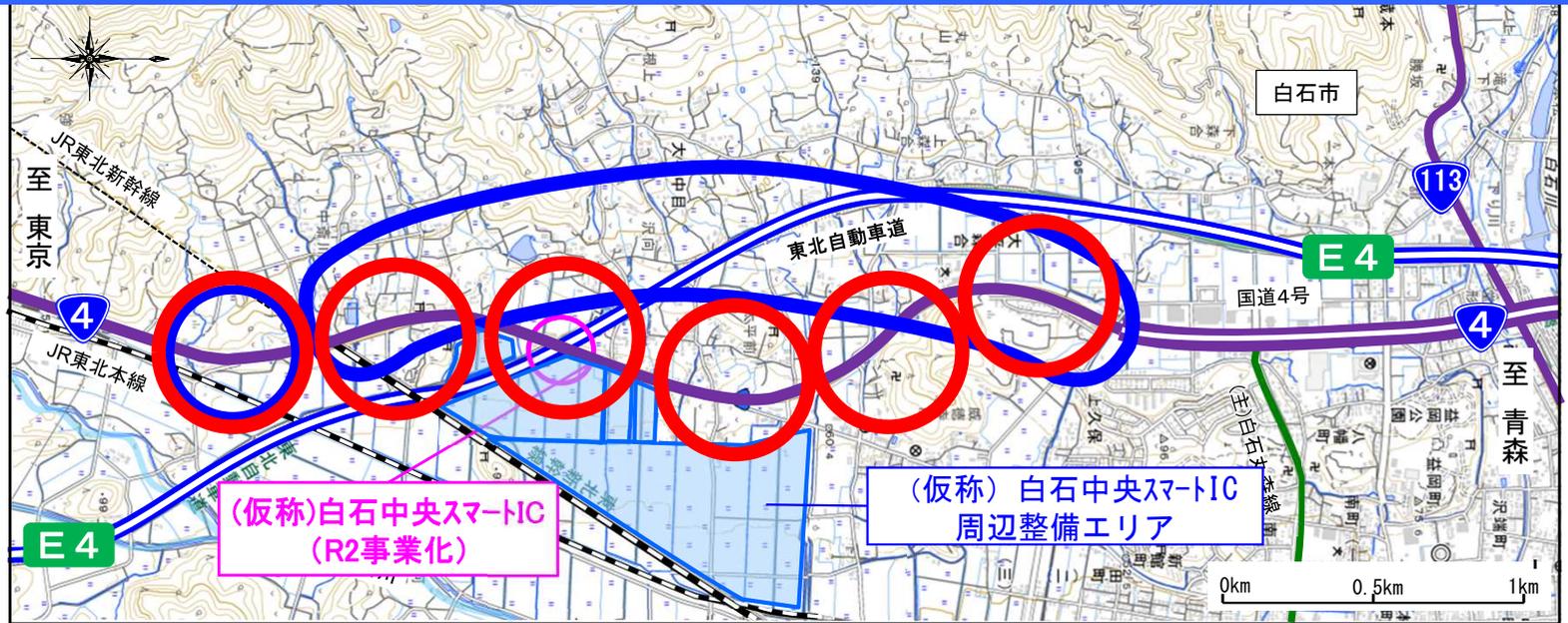
【表2】 配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
生活環境	・ 沿道生活環境への影響
自然環境	・ 地形・自然環境の改変 ・ 脱炭素社会への貢献
周辺関連事業等	・ 周辺関連事業等との連携
経済性	・ 整備に関する費用

4-5. 対策案の比較

凡例	
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	4車線
	2車線
	(仮称)白石中央スマートIC 周辺整備エリア
	(仮称)白石中央スマートIC

凡例	
	A案 現道改良案
	B案 バイパス案



ルート案		【A案】現道改良案	【B案】バイパス案
ルート概要		多車線化により課題解消を図る案	バイパス整備により課題解消を図る案
政策目標	代替道路としての機能向上	交通容量の確保 ・多車線化により、 交通容量が確保され、交通混雑が緩和 する。	バイパス整備（一部現道拡幅）により、 交通容量が確保され、交通混雑が緩和 する。
	交通安全の確保	安全な交通環境 ・交通混雑の緩和により、 交通混雑や沿道出入りに起因する事故の減少 が期待される。	交通混雑の緩和により、 交通混雑や沿道出入りに起因する事故の減少 が期待される。 ・ただし、 バイパス区間の現道の交通環境は現況と変わらない 。
	安全・安心な歩行環境の確保	安全・安心な歩行環境 ・歩道整備により、 歩行環境の安全性が向上 する。	バイパス整備により、現道の交通量が減少し、 歩行環境の安全性が向上 する。 ・ただし、 バイパス区間の現道の交通環境は現況と変わらない 。
	物流・地域産業を支える幹線道路の強化	物流ルートの走行性、速達性の向上 ・交通混雑の緩和により、 物流ルートの走行性・速達性が向上 する。 ・現道沿いで白石市が実施中の (仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアへのアクセスルートが強化 される。	バイパス整備により、現道の交通混雑が緩和し 物流ルートの走行性・速達性が向上 する。 ・バイパス整備のため、現道沿いで白石市が実施中の (仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアに直結しない 。
	安定した救急搬送ルートの確保	救急搬送ルートの安定性、速達性の向上 ・交通混雑緩和により、 救急搬送ルートの安定性・速達性が向上 する。	救急搬送ルートの交通混雑緩和により、 救急搬送の安定性、速達性が向上 するとともに、 救急搬送ルートの選択肢が拡大 。
配慮すべき事項	生活環境	沿道生活環境への影響 ・現道拡幅のため、 沿道生活環境への影響が大きい 。	・現道拡幅区間は 沿道生活環境への影響が大きい が、バイパス区間は 沿道生活環境への影響が小さい 。
	自然環境	地形・自然環境の改変	・現道拡幅のため、 地形改変が小さく、自然環境への影響は小さい 。
		脱炭素社会への貢献	・交通混雑の緩和により、 渋滞車両によるCO2排出量は減少 する。
周辺関連事業等	周辺関連事業等との連携 ・現道拡幅のため、 現行の都市計画とルートが合致し 、現道沿いで白石市が実施中の (仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアと直接接続 する。	・バイパス区間においては、 現行の都市計画とルートが合致しておらず 、現道沿いで白石市が実施中の (仮称)白石中央スマートIC周辺整備エリアと直接接続しない 。	
経済性	整備に関する費用	100～140億円	130～170億

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により金額が変更となる場合がある。

5-1. 第2回地域の意見聴取の内容

◆ 第2回地域の意見聴取の内容は、地域や道路交通の課題を解消するため示したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものとなるよう、ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目に関する質問を設定。

1. 第2回地域の意見聴取の内容

調査項目	把握する内容	回答方法	備考
1. 属性	年齢、職業	選択式（単一回答）	第1回と同様の意見聴取項目
	住所、第1回アンケート回答の有無	選択式（単一回答）	
2. 評価対象範囲の利用状況について	主な利用目的	選択式（単一回答）	第1回と同様の意見聴取項目
	利用頻度	選択式（単一回答）	
	主な移動手段	選択式（単一回答）	
3. ルート帯案を検討する際に重視する項目	どのようなことに重視して計画をすべきか 【政策目標】 ①代替道路としての機能向上 ④物流・地域産業を支える幹線道路の強化 ②交通安全の確保 ⑤安定した救急搬送ルートの確保 ③安全・安心な歩行環境の確保	選択式（単一回答）	第2回意見聴取項目
	【配慮すべき事項】 ⑥生活環境 ⑧周辺関連事業 ⑦自然環境 ⑨経済性		
	重視すべき理由	自由回答	
4. その他	他に重視すべき項目	自由回答	第2回意見聴取項目

5-2. 第2回地域の意見聴取の対象者と方法

2. 意見聴取の対象（案）

■アンケートによる意見聴取の対象（案）

項目	調査対象者	調査手法・規模
地域 住民	<ul style="list-style-type: none"> 白石市 大河原町 蔵王町 国見町（福島県） 	<ul style="list-style-type: none"> 全戸配布 : 28,391世帯 （白石市 : 11,205世帯） （大河原町 : 10,111世帯） （蔵王町 : 4,180世帯） （国見町 : 2,895世帯）
道路 利用者	<ul style="list-style-type: none"> 道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケート（事務所ホームページ） 留置アンケート（22箇所）
事業者等	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県内（白石市、大河原町、蔵王町、仙台市、名取市等）、福島県の対象 区間利用企業及び周辺立地企業 	<ul style="list-style-type: none"> 郵送配布、郵送回収（約200社*） ※社名読取調査等により抽出した企業

■ヒアリング調査による意見聴取の対象（案）

項目	ヒアリング対象	
関係自治体 関係団体 事業者等	○宮城県【1団体】	○医療機関【3団体】
	○自治体【1市3町】	○警察機関【1団体】
	○農業関連団体【1団体】	○バス事業者【1団体】
	○製造業者【3社】	○教育機関【3団体】
	○商工会議所【1団体】	○物流業者【5社】
	○トラック協会【2団体】	○福祉関係【2団体】
	○観光協会【1団体】	○道の駅【1社】
	○消防機関【1団体】	

3. 地域への意見聴取の周知方法

情報提供の項目
宮城県で発行部数の多い新聞にアンケートの協力を呼びかける広告を掲載
仙台河川国道事務所、市町等のホームページに意見聴取のバナーを設置し、幅広く広報を実施
調査対象地域である白石市等で発行される広報誌に広告を掲載
仙台河川国道事務所等のSNSを用いて幅広く広報を実施
新たな媒体によりアンケート協力の呼びかけを実施（回覧板、動画共有サイト等）

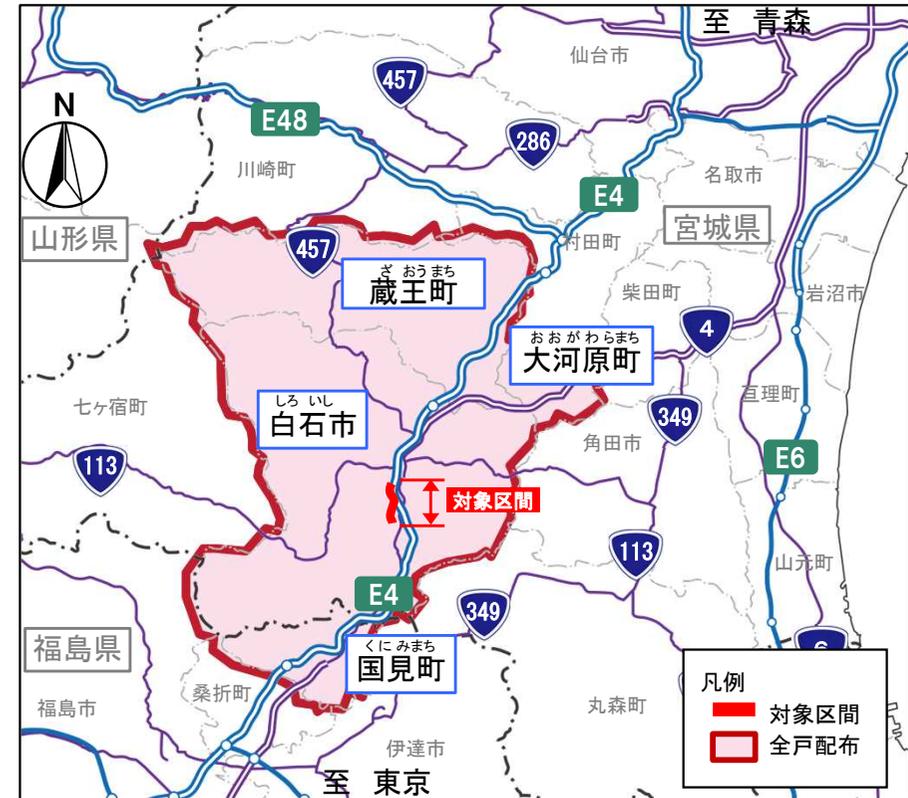
4. 意見聴取期間

- 1～2か月程度

5. 実施主体

- 国土交通省 仙台河川国道事務所

■配布範囲



5-3. 第2回地域の意見聴取に向けて第1回意見聴取結果の分析

- ◆ 第1回意見聴取時のWEBアンケートに、「このアンケートを何で知りましたか？」の設問を追加。
- ◆ アンケートを知ったきっかけは、「広報誌差し込み配布」が約6割を占めた。
- ◆ アンケートを知ったきっかけの年代別では、どの年代においても「広報誌差し込み配布」の割合が最も高く、国、県、自治体のHPやSNS等のWEB媒体による広報が次点で高い結果となった。
- ◆ 郵送等配布のように、情報の受け取り手にとって受動的な情報提供や、WEB媒体による広報がアンケート周知に有効と考えられる。

【図1】WEBアンケート回答画面

国道4号 白石市 斎川～大平森合
道路計画検討に関する第1回アンケート調査

国道4号白石市の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

お住まいの地区を以下から選択または記載ください

白石市 大河原町 蔵王町 国見町

白石市、大河原町、蔵王町、国見町以外の住民の方（以下に住所を記載願います）

住所

年齢

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

職業

会社員 公務員 自営業 学生 主婦(主夫) 無職 その他

その他の職業

運転免許

あり なし

**「このアンケートを何で知りましたか？」
についての設問を追加**

このアンケートを何で知りましたか？

国、県、自治体のHP ツイッター等のSNS ポスター 新聞広告 ラジオ広告

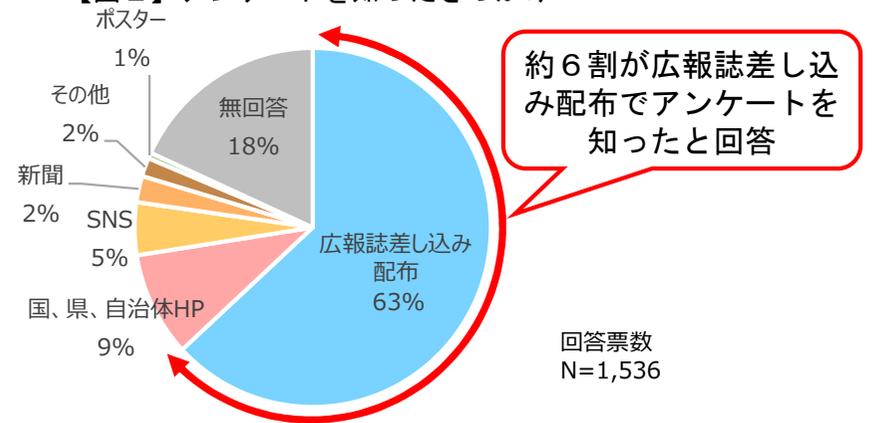
広報誌 郵送または広報誌差し込み等配布物 その他

その他（自由記載）

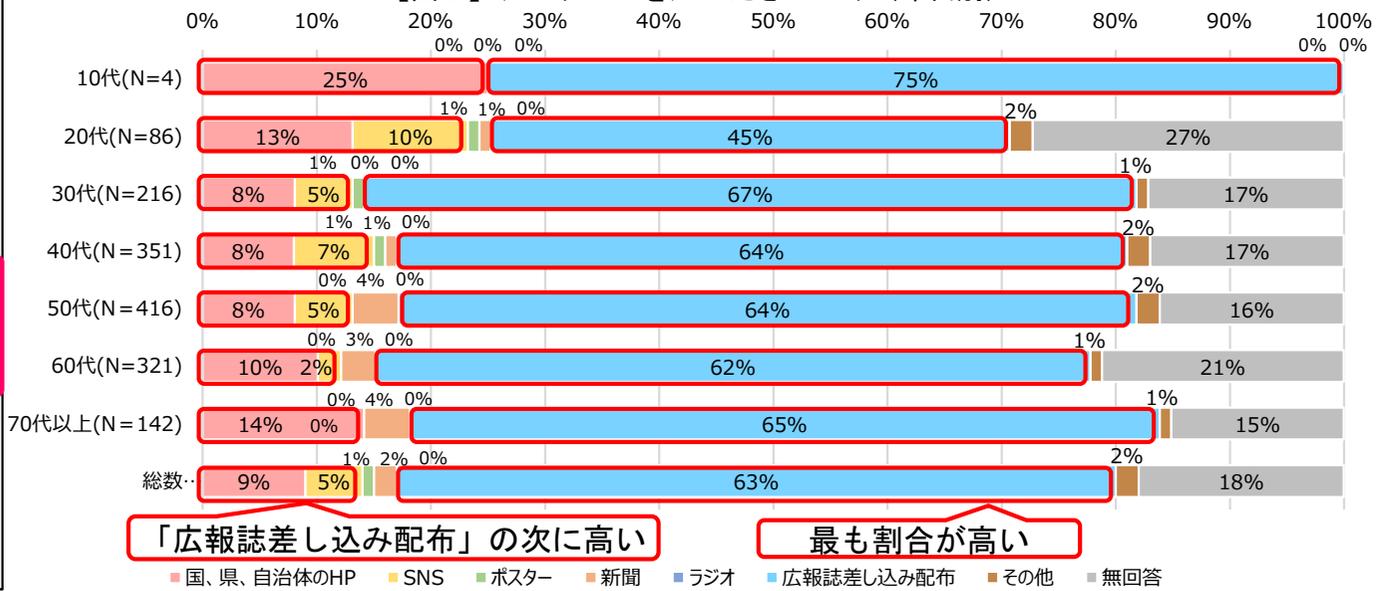
※個人情報をお同意なく第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます。）

次へ

【図2】アンケートを知ったきっかけ



【図3】アンケートを知ったきっかけ（年代別）



5-3. 第2回地域の意見聴取の新たな取り組み

- ◆ 第1回意見聴取時の地域住民を対象としたアンケートにおける世帯単位での回収率は、約14%に留まっている状況。
- ◆ 第2回意見聴取時の世帯あたりの回収率を上げる取り組みとして、調査票配布時のタイミングでSNSでの周知に加え、広報車、自治会の回覧板等によるアンケート回答の呼びかけを実施する。
- ◆ さらに、対象区間周辺の道の駅等でオープンハウスを実施する。
- ◆ アンケート周知の新たな取り組みとして、動画共有サイトでの広報等を実施する。
- ◆ また、WEBアンケートの結果を世帯単位での回収率を正確に反映するため、WEBアンケートには「ご同居されている方の中で回答はがきで回答された方はいますか」等の設問を設ける。

【表1】アンケート調査票の回収状況（5P再掲載）

分類	配布方法	配布数	回収数	回収率
地域住民・道路利用者	広報誌差し込み配布 (回答はがきを2枚添付)	28,391世帯	3,875世帯※1 (うち969票はWEB回答)	約14%
	配布回答 総数	—	5,935票※2	—
	留置	—	58票	—
	WEB	—	567票※3	—
	合計	—	6,560票	—

※1. 配布はがき1枚目とWEB回答を合計した数
(同一世帯内で、はがき及びWEB上で重複して回答していないことを想定)
 ※2. ※1に2枚目を合計した数
 ※3. 郵送等配布対象以外

【写真1】オープンハウスによる広報のイメージ



【図1】動画共有サイトを使用した広報のイメージ



広報範囲を
対象地域等に限定した
プッシュ型広告※を実施

※プッシュ型広告とは、自ら情報を取得しにきていない受動的なユーザーに対し情報を届ける広報手法で、近年は動画共有サイト等で用いられている。

【図2】WEBアンケート結果を世帯あたりの回収率に反映するための設問例

- ・ご同居されている方の中で回答はがきで回答された方はいますか。
いる いない
- ・ご同居されている方の中で他にWEBで回答された方はいますか。
いる いない



5-4. 第2回地域の意見聴取資料案

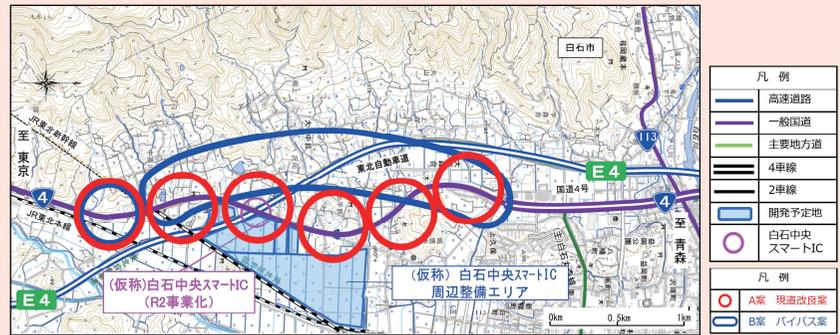
[調査票 表面]

対応方針(ルート帯)の考え方

- A案** 現道改良案
- B案** バイパス案

A案 現道拡幅とすることで現道機能強化を図り、課題解消を図る案です。

B案 バイパス整備とすることで交通転換を図り、課題解消を図る案です。



ルート案		【A案】現道改良案	【B案】バイパス案
ルート概要		多車線化により課題解消を図る案	バイパス整備により課題解消を図る案
政策目標	代替道路としての機能向上	交通容量の確保 ・多車線化により、交通容量が確保され、交通混雑が緩和する。	バイパス整備（一部現道拡幅）により、交通容量が確保され、交通混雑が緩和する。
	交通安全の確保	安全な交通環境 ・交通混雑の緩和により、交通混雑や浴道出入りに起因する事故の減少が期待される。	交通混雑の緩和により、交通混雑や浴道出入りに起因する事故の減少が期待される。 ・ただし、バイパス区間の現道の交通環境は現況と変わらない。
	安全・安心な歩行環境の確保	安全・安心な歩行環境 ・歩道整備により、歩行環境の安全性が向上する。	バイパス整備により、現道の交通量が減少し、歩行環境の安全性が向上する。 ・ただし、バイパス区間の現道の交通環境は現況と変わらない。
	物流・地域産業を支える幹線道路の強化	物流ルートの走行性・速達性の向上 ・交通混雑の緩和により、物流ルートの走行性・速達性が向上する。 ・現道沿いで白石市が実施中の（仮称）白石中央スマートIC周辺整備エリアへのアクセスルートが強化される。	バイパス整備により、現道の交通混雑が緩和し物流ルートの走行性・速達性が向上する。 ・バイパス整備のため、現道沿いで白石市が実施中の（仮称）白石中央スマートIC周辺整備エリアに直結しない。
	安定した救急搬送ルートの確保	救急搬送ルートの安定性・速達性の向上 ・交通混雑緩和により、救急搬送ルートの安定性・速達性が向上する。	救急搬送ルートの交通混雑緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上するとともに、救急搬送ルートの選択幅が拡大。
配慮すべき事項	生活環境	沿道生活環境への影響 ・現道拡幅のため、沿道生活環境への影響が大きい。	現道拡幅区間は沿道生活環境への影響が大きい、バイパス区間は沿道生活環境への影響が小さい。
	自然環境	地形・自然環境の改変 ・現道拡幅のため、地形改変が小さく、自然環境への影響が小さい。	バイパス区間が主のため、地形改変が大きく、自然環境への影響が大きい。
	脱炭素社会への貢献	交通混雑の緩和により、渋滞車両によるCO ₂ 排出量は減少する。	交通混雑の緩和により、渋滞車両によるCO ₂ 排出量は減少する。
周辺関連事業等との連携	周辺関連事業等との連携 ・現道拡幅のため、現行の都市計画とルートが合致し、現道沿いで白石市が実施中の（仮称）白石中央スマートIC周辺整備エリアと直接接続する。	バイパス区間においては、現行の都市計画とルートが合致しておらず、現道沿いで白石市が実施中の（仮称）白石中央スマートIC周辺整備エリアと直接接続しない。	
経済性	整備に関する費用	100~140億円	130~170億

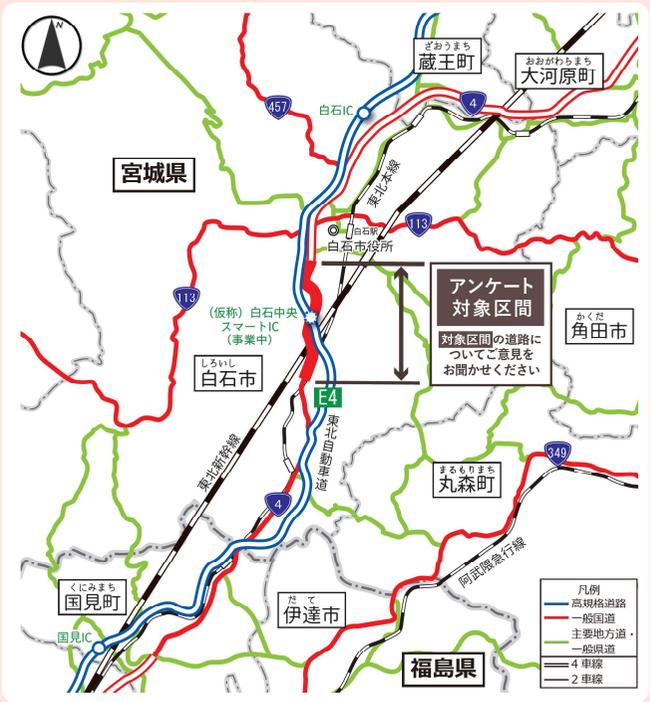


みなさまのご意見をお聞かせください！

国道4号
白石市斎川～大平森合
道路計画検討に関する第2回アンケート調査

全4問
(約4分程度)

- 白石市の国道4号は、都市の発展とともに道路の利用が変化し、対象区間の道路に負担が生じているため、混雑や事故などの課題を抱えています。
- 本アンケートは、対象区間の課題を解決する道路計画検討にあたり、皆様が対応方針(ルート帯)を検討する上で重視すべき事項等について、ご意見をお聞きするために行う調査です。
※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



お問い合わせ TEL 022-248-0048 Email thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp (平日 9:15 ~ 18:00)

アンケートのご回答は 令和●年●月●日 までにお願ひします。

